

**WACOM**

XDWMJ-0201

intelligent graphics tablet system

wacom

**intuos<sup>®</sup>**

マニュアル

for Windows

2

このマニュアルの使い方

次のページへ

目次

索引

## 安全にお使いいただくために

クイックスタートガイドの巻頭に、安全についての大切な内容が書かれています。お使いになる前に必ずお読みください。

## はじめに

このたびは、当社の intuos2 タブレットをお買いあげいただきまことにありがとうございます。

intuos2 タブレットは、コンピュータによるデザインや、ペイント、イラスト、操作、編集作業の究極的な方法を提供することを目的として開発されました。

より創造的で、軽快なデザインや制作のためにお役立てください。

## 保証書についてのお願ひ

巻末の保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店印がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収証（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店印も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

## 電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 商標について

intuos は株式会社ワコムの登録商標です。

Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

DOS/V は日本アイ・ビー・エム社の商標です。

その他の製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

## 著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

本ソフトウェア、および本書の内容の一部または全部を、使用許諾条件を越えて複製、転載することは禁止されています。

Acrobat® Reader の著作権（© 1987-2002）はアドビシステムズ社にあります。

## このマニュアルについて

ボタンやハイパーテキスト（アンダーライン付きのテキスト）をクリックしてページを移動することにより、知りたい情報を早く探し出すことができます。ボタンなどの使い方については、[このマニュアルの使い方](#)を参照してください。ほかのハードディスクに「Manualjip.pdf」のアイコンをコピーして、異なるコンピュータで見ることでもありますので、操作の理解にお役立てください。

タブレットの接続やタブレットドライバのインストール、アンインストールについては、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

[目次と索引](#)・・・各行をクリックするとそのページに移動します。ページ番号が付いているので、印刷してコンピュータのないところで読むのにも便利です。（印刷される場合、すべてのページを一度に印刷すると時間がかかりますので、章や節に分けて印刷されることをおすすめします。）

[タブレットの使い方](#)・・・タブレットとペンについての基本的な使い方をひとつおり説明しています。

[コントロールパネルの使い方（基礎編）](#)・・・タブレットとペンのコントロールパネルの基本的な設定方法について説明しています。

[プロフェッショナルデバイスの使い方](#)・・・エアブラシや2D マウス、4D マウス、レンズカーソルの使い方について説明しています。

[コントロールパネルの使い方（応用編）](#)・・・筆圧やマッピングの詳細設定や特定アプリケーション専用の設定、プロフェッショナルデバイスの設定、マルチタブレットについて説明しています。

[トラブルシューティング](#)・・・トラブルシューティングやタブレットの診断方法。

[?インフォメーション](#)・・・製品のサポートや保証、製品の仕様やオプション品を紹介しています。



本文中の「 」で囲まれた文字は、コントロールパネルのボタンやオプションを表します。  
以下の内容についてはこのマニュアルやクイックスタートガイドでは説明していません。

ご使用になっているコンピュータ本体。

ご使用になっているオペレーティングシステム。

アプリケーションソフトについて。

これらに関しては、それぞれの製品の説明書をご覧ください。

intuos2 タブレットとその入力デバイスの機能（筆圧、消しゴム、傾き、エアブラシ、4D マウス、デュアルデバイス入力）に対応しているグラフィックアプリケーションについての情報を、ホームページ上で提供しています。 [サポート窓口のオンラインサポート](#)

## このマニュアルの使い方

各ページの以下のようなボタンやテキストをクリックすると、それぞれが示すページにすぐに移動することができます。



見た順に表示を戻ります。



目次のはじめへ移動します。



索引のはじめへ移動します。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。



章や節のはじめへ移動します。

下線付きのテキスト

詳しく説明しているページへ移動します。



次のページに続きがあります。



表紙へ移動します。

Acrobat Reader のメニューやツールを利用すると、表示のズームイン、ズームアウトや、用語の検索、このマニュアルの印刷などができます。詳しくは、Acrobat Reader のオンラインガイドを参照してください。(印刷される場合は、すべてのページを一度に印刷すると時間がかかりますので、章や節に分けて印刷されることをおすすめします。)



# 目次

<a href="#">安全にお使いいただくために</a>	<a href="#">2</a>	<a href="#">筆圧を使う</a>	<a href="#">26</a>
<a href="#">はじめに</a>	<a href="#">2</a>	<a href="#">傾きを使う</a>	<a href="#">27</a>
<a href="#">このマニュアルについて</a>	<a href="#">3</a>	<a href="#">消しゴムを使う</a>	<a href="#">28</a>
<a href="#">このマニュアルの使い方</a>	<a href="#">5</a>	<a href="#">読み取り高さ</a>	<a href="#">29</a>
<a href="#">タブレットの使い方</a>	<a href="#">10</a>	<a href="#">画面を見ながらペンを使う</a>	<a href="#">30</a>
<a href="#">各部の名称と働き</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">タブレットと入力デバイスのお手入れ</a>	<a href="#">31</a>
<a href="#">A6 タブレット</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">芯を交換する</a>	<a href="#">31</a>
<a href="#">A5 タブレットと A4 タブレット</a>	<a href="#">12</a>	<a href="#">サイドスイッチのはずし方</a>	<a href="#">32</a>
<a href="#">A4 正方形タブレットと A3 タブレット</a>	<a href="#">13</a>	<a href="#">サイドスイッチの付け方</a>	<a href="#">32</a>
<a href="#">入力デバイス</a>	<a href="#">14</a>	<a href="#">2D マウスの使い方</a>	<a href="#">33</a>
<a href="#">姿勢と作業環境を整える</a>	<a href="#">17</a>	<a href="#">2D マウス標準設定</a>	<a href="#">33</a>
<a href="#">ペンスタンドの使い方</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">コントロールパネルの使い方（基礎編）</a>	<a href="#">34</a>
<a href="#">タブレットを手前に傾斜させる</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">コントロールパネルを開く</a>	<a href="#">35</a>
<a href="#">ファンクションボックスを使う</a>	<a href="#">19</a>	<a href="#">コントロールパネルの概要</a>	<a href="#">36</a>
<a href="#">ペンの使い方</a>	<a href="#">21</a>	<a href="#">タブ</a>	<a href="#">37</a>
<a href="#">ペンの持ち方</a>	<a href="#">21</a>	<a href="#">ペンのタブ</a>	<a href="#">37</a>
<a href="#">ポインティング</a>	<a href="#">22</a>	<a href="#">マウスのタブ</a>	<a href="#">37</a>
<a href="#">クリック、ダブルクリック</a>	<a href="#">23</a>	<a href="#">コントロールパネルのボタン</a>	<a href="#">39</a>
<a href="#">サイドスイッチとセカンドサイドスイッチを使う</a>	<a href="#">24</a>	<a href="#">ペン先の筆圧感触を調整する</a>	<a href="#">40</a>
<a href="#">ドラッグ</a>	<a href="#">25</a>		



<a href="#">ペン先のダブルクリックアシストを調整する</a>	41	<a href="#">プルダウンメニュー</a>	68
<a href="#">ペンスイッチを設定する</a>	42	<a href="#">ファイルメニュー</a>	68
<a href="#">ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能</a>	43	<a href="#">編集メニュー</a>	68
<a href="#">テールスイッチの筆圧感触を調整する</a>	48	<a href="#">追加メニュー</a>	68
<a href="#">傾き感度を設定する</a>	49	<a href="#">削除メニュー</a>	69
<a href="#">2D マウスのボタンを設定する</a>	50	<a href="#">言語メニュー</a>	69
<a href="#">2D マウスのホイールを設定する</a>	51	<a href="#">ヘルプメニュー</a>	69
<a href="#">タブレットから画面へのマッピングを設定する</a>	52	<a href="#">プロフェッショナルデバイスの使い方</a>	70
<a href="#">ペンモードのマッピングタブ</a>	52	<a href="#">エアブラシの使い方</a>	71
<a href="#">座標検出モード</a>	53	<a href="#">エアブラシの持ち方</a>	71
<a href="#">タブレットの向きを変える</a>	53	<a href="#">4D マウスの使い方</a>	72
<a href="#">タブレットとの関係</a>	54	<a href="#">4D マウスのホイール</a>	73
<a href="#">タブレット操作エリア</a>	55	<a href="#">レンズカーソルの使い方</a>	74
<a href="#">タブレットの表示エリア</a>	58	<a href="#">2つの入力デバイスを同時に使う</a>	75
<a href="#">マウスモードのマッピングタブ</a>	60	<a href="#">コントロールパネルの使い方 (応用編)</a>	76
<a href="#">ポップアップメニューを設定する</a>	61	<a href="#">ペン先の筆圧感触を詳細に設定する</a>	77
<a href="#">キーストロークを追加する</a>	61	<a href="#">クリック荷重を調整する</a>	78
<a href="#">ポインタの速度を設定する</a>	62	<a href="#">筆圧曲線を調整する</a>	79
<a href="#">マッピングオプションを追加する</a>	63	<a href="#">テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する</a>	81
<a href="#">ポップアップメニューから項目を削除する</a>	63	<a href="#">マッピングを詳細に設定する</a>	82
<a href="#">ファンクションボックスの機能を設定する</a>	64	<a href="#">設定手順の例</a>	83
<a href="#">シリアルタブレットの接続を確認する</a>	66		
<a href="#">USB タブレットのモードを設定する</a>	67		

[導入](#)

[基礎](#)

[応用](#)

[応急](#)

[用語・索引](#)

[インフォメーション](#)



目次  
索引



目次

7ページ



<a href="#">プロフェッショナルデバイスを設定する</a>	85	<a href="#">その他のトラブル</a>	109
<a href="#">エアブラシのホイール</a>	85	<a href="#">タブレットと入力デバイスを診断する</a>	110
<a href="#">4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する</a>	86	<a href="#">ペンやエアブラシの診断</a>	110
<a href="#">4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う</a>	87	<a href="#">2D マウスの診断</a>	111
<a href="#">4D マウスのホイールを設定する</a>	88	<a href="#">4D マウスとレンズカーソルの診断</a>	112
<a href="#">アプリケーションごとに設定を変える</a>	89	<a href="#">? インフォメーション</a>	113
<a href="#">ステップ 1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録</a>	90	<a href="#">製品のサポート</a>	114
<a href="#">ステップ 2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定</a>	93	<a href="#">サポート窓口</a>	114
<a href="#">特定のアプリケーションの設定を削除する</a>	93	<a href="#">ハードウェアの修理</a>	115
<a href="#">ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります</a>	93	<a href="#">製品の保証について</a>	116
<a href="#">入力デバイスごとに設定を変える</a>	94	<a href="#">ハードウェアの保証</a>	116
<a href="#">ステップ 1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録</a>	95	<a href="#">タブレットドライバについて</a>	117
<a href="#">ステップ 2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定</a>	98	<a href="#">仕様</a>	118
<a href="#">入力デバイスの設定を削除する</a>	98	<a href="#">intuos2 タブレット共通の仕様</a>	118
<a href="#">ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります</a>	98	<a href="#">intuos2 A6 タブレット i-420 Serial/USB (XD-0405-R/U)</a>	119
<a href="#">同じタイプの入力デバイスを複数使う</a>	99	<a href="#">intuos2 A5 タブレット i-620 Serial/USB (XD-0608-R/U)</a>	119
<a href="#">設定内容を他へコピーする</a>	100	<a href="#">intuos2 A4 タブレット i-920 Serial/USB (XD-0912-R/U)</a>	119
<a href="#">複数のタブレットを接続する</a>	101	<a href="#">intuos2 A4 正方形タブレット i-1220 Serial/USB (XD-1212-R/U)</a>	119
<a href="#">トラブルシューティング</a>	102	<a href="#">intuos2 A3 タブレット i-1820 Serial/USB (XD-1218-R/U)</a>	119
<a href="#">タブレットを操作できない</a>	103	<a href="#">グリップペン XP-501E</a>	120
<a href="#">デバイスボタン (ペンスイッチ) のトラブル</a>	106	<a href="#">エアブラシ XP-400E</a>	120
<a href="#">画面表示のトラブル</a>	108		





<a href="#">インクペン XP-110</a>	<a href="#">120</a>
<a href="#">ストロークペン XP-120</a>	<a href="#">121</a>
<a href="#">2D マウス XC-100</a>	<a href="#">121</a>
<a href="#">4D マウス XC-400</a>	<a href="#">121</a>
<a href="#">レンズカーソル XC-210</a>	<a href="#">121</a>
<a href="#">付属品、オプション品、消耗品</a>	<a href="#">122</a>
<a href="#">ペン</a>	<a href="#">122</a>
<a href="#">消耗品</a>	<a href="#">124</a>
<a href="#">用語</a>	<a href="#">125</a>
<a href="#">索引</a>	<a href="#">128</a>
<a href="#">お問い合わせ用紙・修理依頼書</a>	<a href="#">133</a>

[導入](#)

[基礎](#)

[応用](#)

[応急](#)

[用語・索引](#)

[インフォメーション](#)



目次  
索引



目次

9ページ

# タブレットの使い方

この章では、タブレットやペンをはじめとする入力デバイスの使い方について説明します。タブレットの接続やタブレットドライバのインストール、アンインストールの方法については、**クイックスタートガイド**を参照してください。

従来モデル (intuos) の入力デバイスは、intuos2 タブレットではお使いになれません。同様に、intuos2 の入力デバイスは、intuos シタブレットではお使いになれません。

[各部の名称と働き](#)

[姿勢と作業環境を整える](#)

[ペンの使い方](#)

[タブレットと入力デバイスのお手入れ](#)

[2D マウスの使い方](#)



目次  
索引

タブレットの使い方

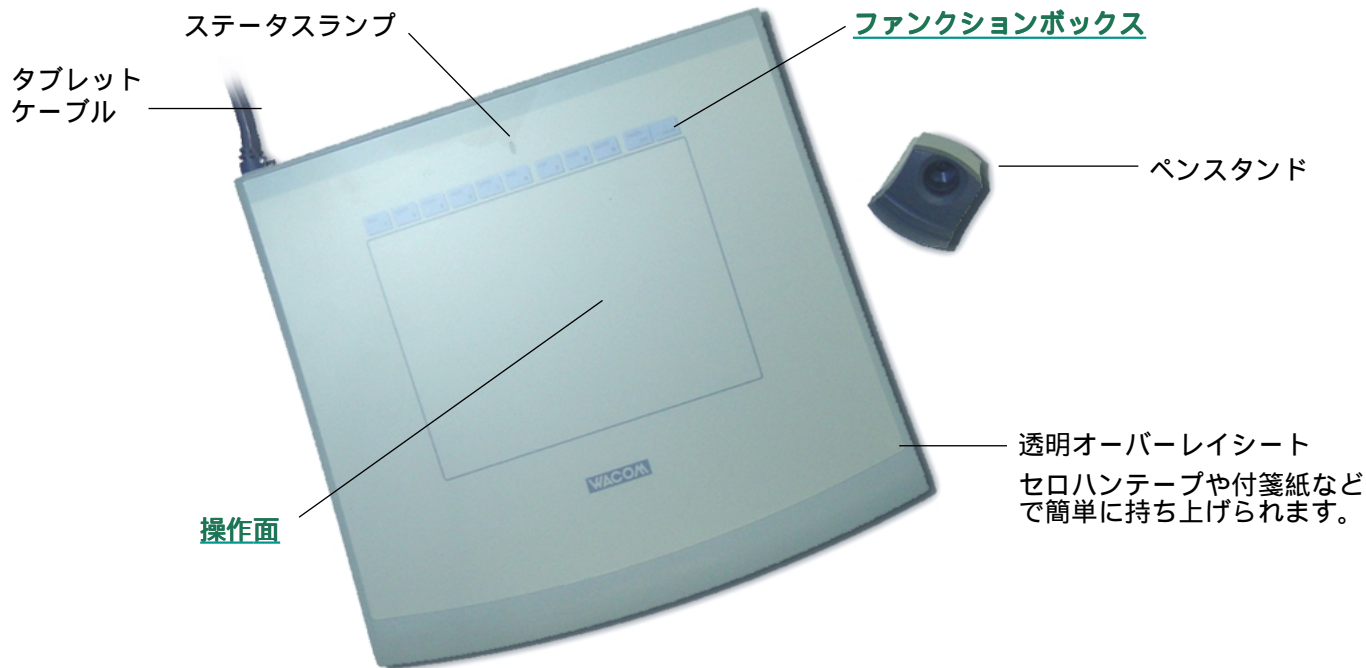
10 ページ

## 各部の名称と働き

intuos2 タブレットには、ペンなどのが付属しています。それぞれのサイズのタブレットと入力デバイスについて説明します。

([A5 タブレットと A4 タブレット](#)の順路へ) ([A4 正方形タブレットと A3 タブレット](#)の順路へ)

### A6 タブレット



[このタブレットの順路へ](#)



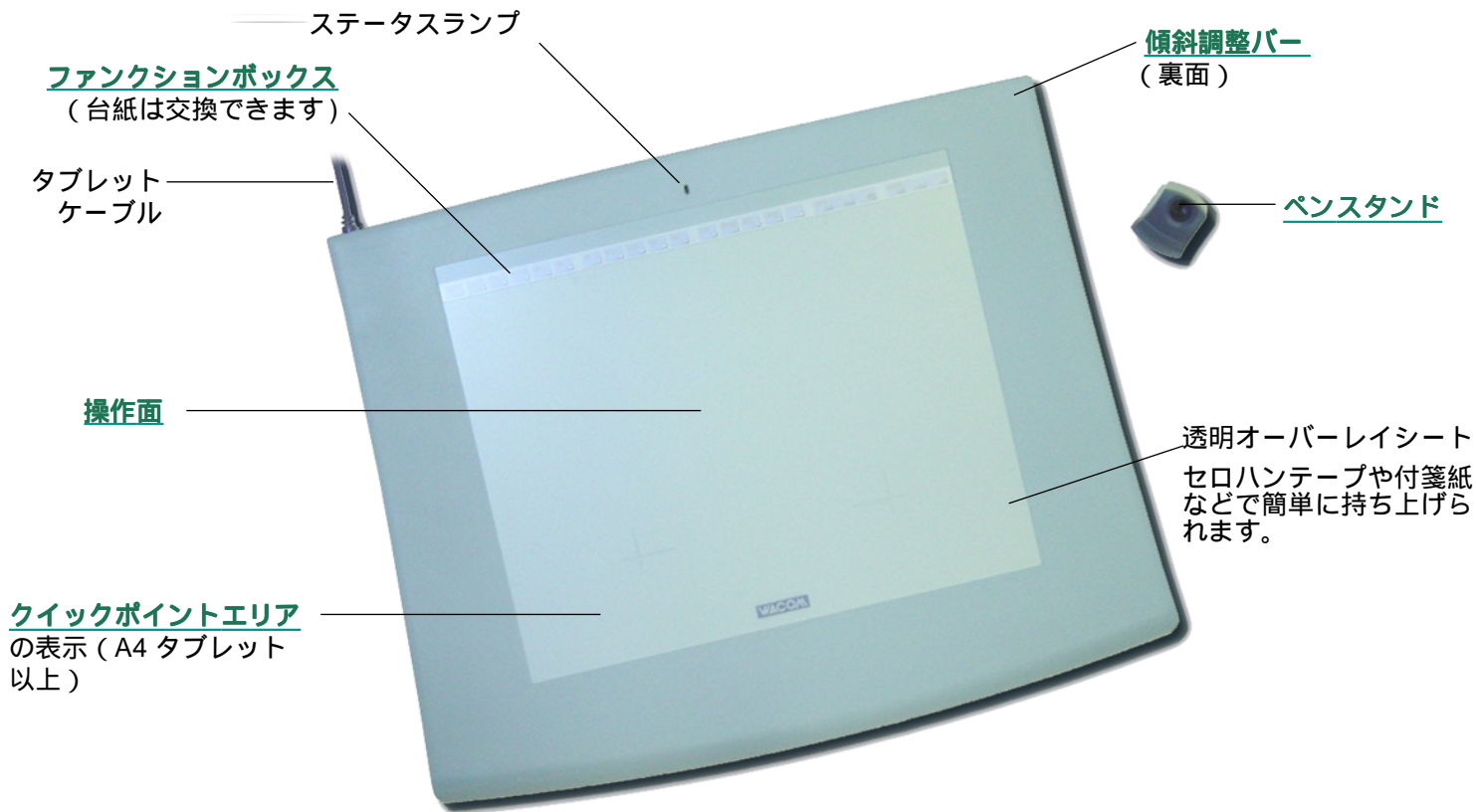
目次  
索引



タブレットの使い方

各部の名称と働き 11 ページ

## A5 タブレットとA4 タブレット



このタブレットの順路へ



目次  
索引



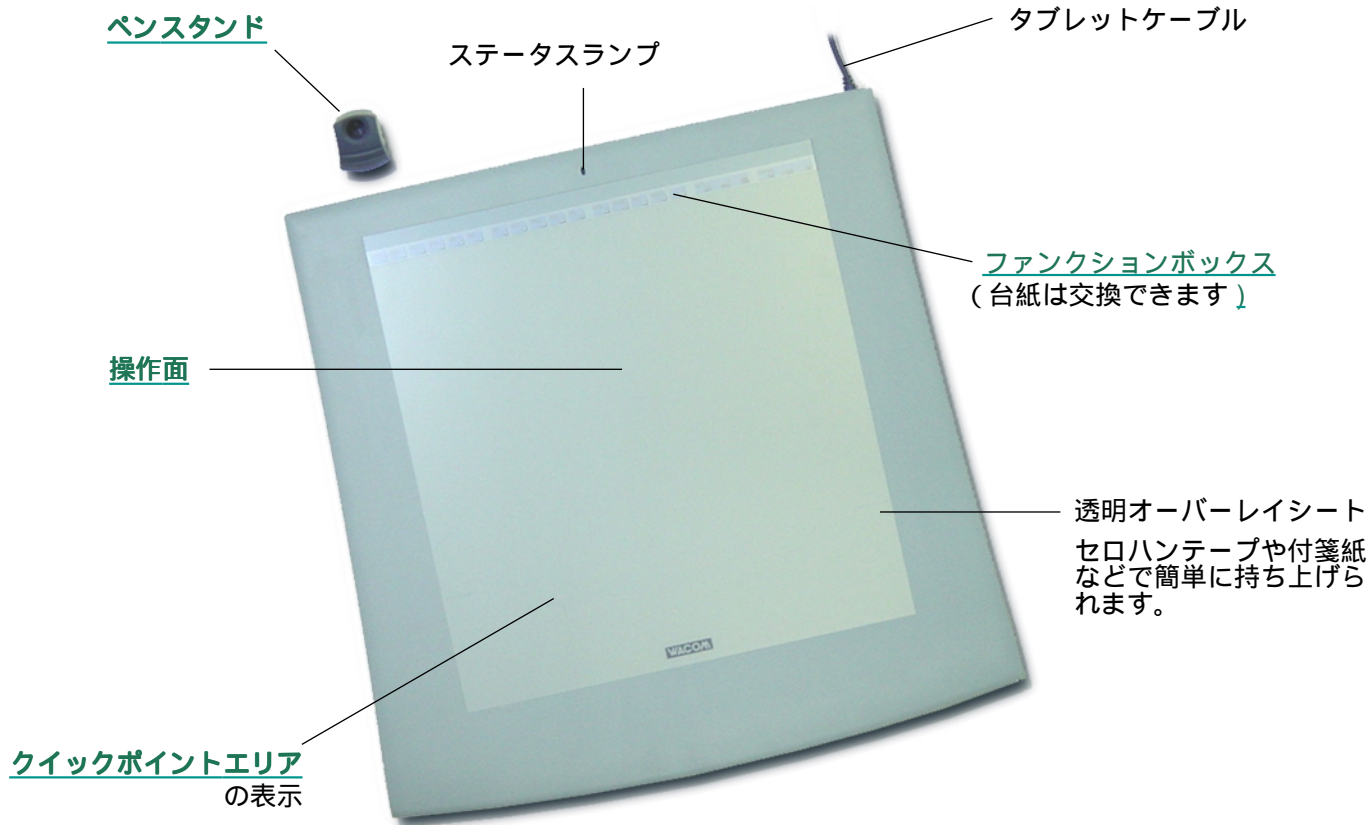
タブレットの使い方



各部の名称と働き

12 ページ

## A4 正方形タブレットと A3 タブレット



目次  
索引



タブレットの使い方



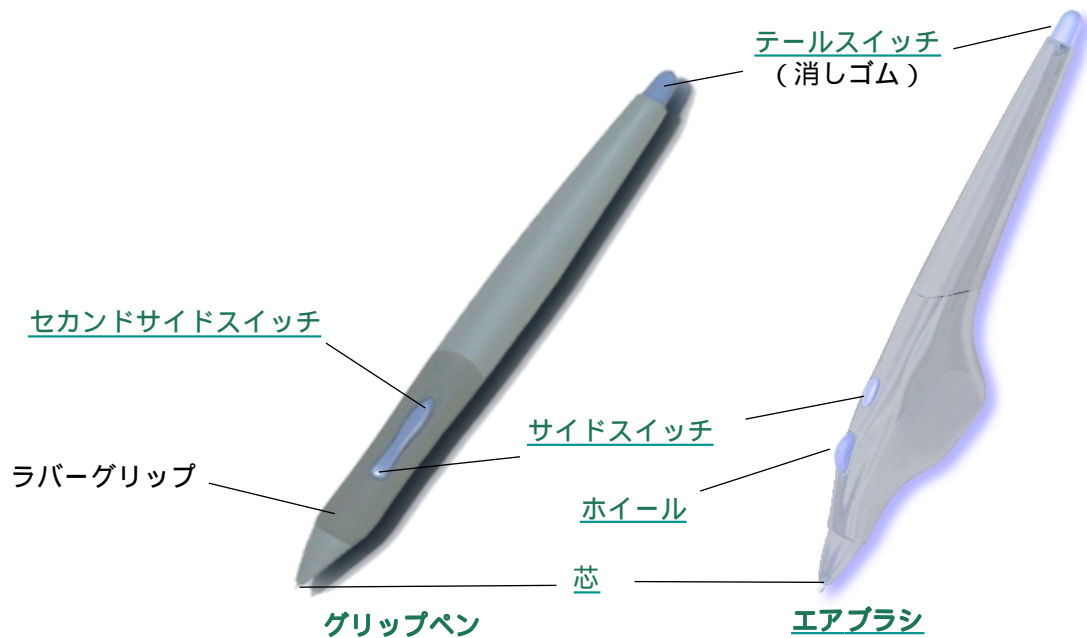
各部の名称と働き

13 ページ

## 入力デバイス

intuos2 タブレットでは、ペンをはじめ、コードレスの 2D マウス、電子画材としてのエアブラシや、3D グラフィック用の 4D マウス、CAD 用のレンズカーソルをご使用になれます。入力デバイスひとつひとつに書き込まれている デバイス ID をタブレットが識別しますので、同じタブレットに対して多くの入力デバイスを個別の設定で使用することができます。同じタイプのペンも無制限に識別することができます。(アプリケーションの対応により、2つのポインタを表示して同時に2つまで使用できます。)

**参考:** 付属の入力デバイス以外のものもお求めになれます 付属品、オプション品、消耗品  
ペンとエアブラシは、筆圧機能により人間の手が得意とする自然で滑らかな変化を表現できます。



目次  
索引



タブレットの使い方



各部の名称と働き

14 ページ

2D マウスや 4D マウスは、タブレット操作面上で、通常のマウスと同じようにお使いいただけます。  
4D マウスは、タブレットに対する回転角もアプリケーションに提供します。アプリケーションの対応により、2次元や3次元グラフィックに対して、柔軟で複合的な加工や操作をすることができます。

#### ホイール

回すと、アクティブ  
ウィンドウを上下に  
スクロールします。  
押すと、中ボタンと  
して働きます。

デバイスボタンの機能について  
は... [2D マウスの使い方](#)



2D マウス

2D マウスにもデバイス ID が書き込まれています  
が、同時に2つの入力デバイスを使用すること  
(デュアルデバイス)はできません。

#### ホイール

Microsoft InleliMouse  
のホイールの代わり  
として働きます。

デバイスボタンの機能に  
ついては... [4D マウ  
スの使い方](#)



4D マウス



目次  
索引



タブレットの使い方



各部の名称と働き

15 ページ

レンズカーソルは手元を見ながら操作面上の正確な位置を入力するのに使用します。レンズの十字の交点が座標読み取り位置になります。CAD や、図形、地図情報の入力、トレースなどのアプリケーションに便利です。



レンズカーソル

オプションとしてお求めになれます  
付属品、オプション品、消耗品



## 姿勢と作業環境を整える

タブレットやキーボード、ペンスタンドを手の届きやすい場所に配置してください。  
長時間作業をしても疲労や障害を防ぐことができるように、モニタの高さや場所を調整してください。  
目が疲れない適切な照明のもとでモニタをご使用ください。



### 疲労を軽減するには

作業の合間に休憩をとってください。

入力デバイスを持つときはなるべく力を抜いてください。

一日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行なってください。

不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。

A5 タブレットと A4 タブレットは手前に傾斜させることができます。 [タブレットを手前に傾斜させる](#)



目次  
索引



タブレットの使い方

姿勢と作業環境を整える 17 ページ

## ペンスタンドの使い方



手の届きやすい場所に置いてください。

## タブレットを手前に傾斜させる

大きなタブレットを机の上でご使用になる場合は、一般に、タブレットを手前に少し傾斜させると使いやすくなります。

A5 タブレットと A4 タブレットには、付属の傾斜調整バーを裏面に貼り付けることができます。



通常の向きでタブレットを使用する場合はここに貼り付けます。



目次  
索引



タブレットの使い方



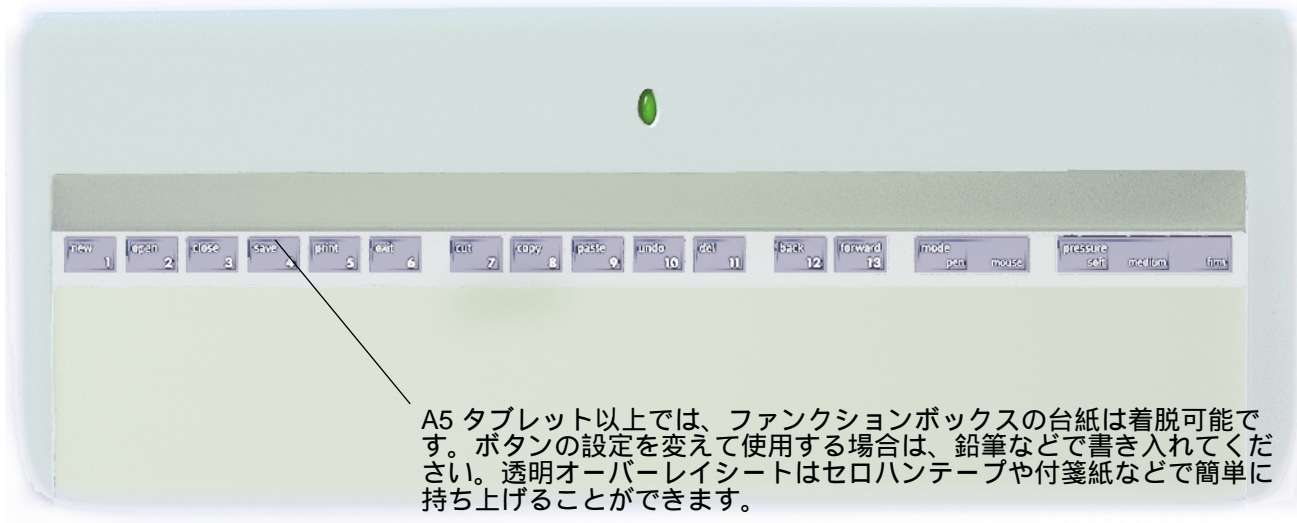
姿勢と作業環境を整える

18 ページ

## ファンクションボックスを使う

intuos2 タブレットの操作面の上部には、入力デバイスでクリックできるファンクションボックスがあります。一般的なアプリケーションの、ファイルメニューと編集メニューの代表的なショートカットキーの実行などが、キーボードを操作することなくワンタッチでできます。

ファンクションボックスのボタンの数は、タブレットのサイズにより異なります。



入力デバイスがボタンの上に来るとボタンの番号が画面に表示されるので、画面から目を離さずにクリックできます。



目次  
索引



タブレットの使い方



姿勢と作業環境を整える 19 ページ

ファンクションボックスには以下の機能が標準設定されています。

ボタンの表記	ショートカットキー	機能
new	Ctrl+N	新規作成 ...
open	Ctrl+O	開く ...
close	Alt+F, C	閉じる ...
save	Ctrl+S	上書き保存
print	Ctrl+P	印刷 ...
exit	Alt+F, X	アプリケーションの終了
cut	Ctrl+X	切り取り
copy	Ctrl+C	コピー
paste	Ctrl+V	貼り付け
undo*	Ctrl+Z	元に戻す
del*	Del	(「Delete」キーを押すのと同じです)
Back*	Alt+	Web ブラウザの「戻る」ボタン
Forward*	Alt+	Web ブラウザの「進む」ボタン
Stop**	Esc	Web ブラウザの「中止 (Stop)」ボタン
Refresh**	Ctrl+R	Web ブラウザの「更新 (再読み込み)」ボタン
Mode*** Pen*	—	座標検出モードを <u>ペンモード</u> に
Mouse*	—	座標検出モードを <u>マウスモード</u> に
QuickPoint**	—	操作エリアを <u>クイックポイントモード</u> ** に
Pressure*** Soft*	—	「柔らかい筆圧感触」に
Med*	—	「普通の筆圧感触」に
Firm*	—	「硬い筆圧感触」に

\*... A5 タブレット以上    \*\*... A4 タブレット以上    \*\*\*... 変更を保存するにはコントロールパネルを開いて「OK」か「保存」ボタンを押してください。

ファンクションボックスの設定を変えたいときは ... [ファンクションボックスの機能を設定する](#)

## ペンの使い方

グラフィカルユーザーインターフェースの基本操作であるポインティング、クリック、およびドラッグの操作は、マウスと同様に行なえます。タブレットとペンをはじめてお使いになる方は、以下のページを参照してください。

### ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。誤って、意図せずサイドスイッチを押さないように持ってください。サイドスイッチは親指か人差し指で押してください。



ペンを使う



テールスイッチ（消しゴム）を使う

**重要：**ペンを手から離すときペンをタブレットの上に置きますと、マウスなど他の入力機器と競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。ペンスタンドをご利用ください。

ペン先が押されたままの状態では放置しますと、筆圧感触が損なわれることがあります。ペン先の感触を保つため、保管時にはペン先に自重などがからないようにご注意ください。



目次  
索引



タブレットの使い方

ペンの使い方 21 ページ

## ポインティング

ペン先を約 6mm 以内に近づけると、ペンモード（絶対座標）では画面のポインタがペン先の位置に応じた場所に現れて、ペンの動きについてきます。



日頃からマウスを使い慣れていて、ペンによるポインティングに少し違和感を感じる方は、画面を見ながらペンを使うを参照してください。

**ポインティングのコツ**：タブレットを少し反時計回りに傾けて、手首を中心とするペンの動きがタブレットの横方向と平行になるように置くと、ポインティングが自然にできます。

## クリック、ダブルクリック

**クリック**... ペン先で軽くタブレットを押すと、マウスでクリックをしたことと同じになります。このときペン先にクリック感はありません。

**ダブルクリック**... すばやく2回同じ場所をクリックします。アイコンからフォルダやファイルなどを開くときに使います。セカンドサイドスイッチを使うと1回押すだけでダブルクリックができます。

ペン先で2回押す方法と、セカンドサイドスイッチを1回押す方法の2とおりのダブルクリックをお試しください。



セカンドサイドスイッチでダブルクリックすると、ペン先で同じ場所を2回クリックするより簡単です。



目次

索引



タブレットの使い方



ペンの使い方 23 ページ

## サイドスイッチとセカンドサイドスイッチを使う

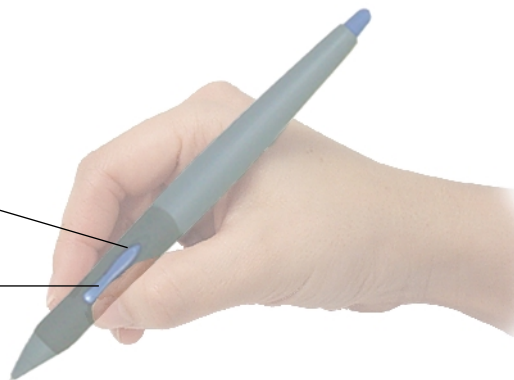
サイドスイッチとセカンドサイドスイッチは、ペン先が操作面から読み取り高さ（約 6 mm）以内にあるとき押されると、それぞれの機能が働きます。

### セカンドサイドスイッチ

標準設定はダブルクリックです。ペン先で同じ場所を 2 回クリックするより簡単です。

### サイドスイッチ

標準設定は右クリックです。Windows ではアプリケーション専用のメニューやアイコン専用のメニューをポインタのところに開きます。



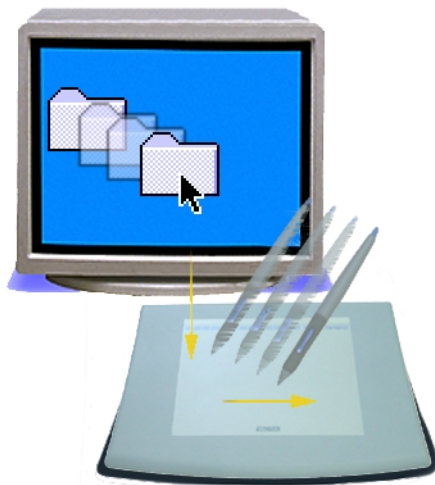
サイドスイッチを使うことがない場合ははずすことができます。  
サイドスイッチのはずし方

サイドスイッチとセカンドサイドスイッチの設定を変えるには ... ペンスイッチを設定する



## ドラッグ

ペン先を操作面に押しつけたまま動かします。選択したアイコンや図形、ブロックなどを移動させたり、文字ブロックの範囲を選択するのに使います。途中で押しつける力が弱くなりすぎますと、ドラッグが終わってしまいます。



目次  
索引



タブレットの使い方



ペンの使い方 25 ページ

## 筆圧を使う

ペン先やテールスイッチに加わる荷重をタブレットが読み取り、筆圧としてアプリケーションに伝えます。筆圧に対応しているグラフィックアプリケーションでは、ペンに加わる荷重の変化を線の太さや濃さ、色合いなどとして表現することができます。

筆圧対応のグラフィックアプリケーションを開いて、ツールパレットやツールボックスから筆圧ツールを選んで試してください。

筆圧の感触を調整するには ... [ペン先の筆圧感触を調整する](#)



どのアプリケーションが筆圧に対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

[サポート窓口](#)のオンラインサポート

## 傾きを使う

操作面の垂線から、ペンがどのように傾いたかをタブレットが読みとります。傾きの大きさと方向がアプリケーションに伝わります。グラフィックアプリケーションの対応により、たとえば、傾き方向に平行に線を引くと細く、垂直に引くと太く描けます。



傾きの感度を設定することができます。 [傾き感度を設定する](#)  
どんなアプリケーションが傾きに対応しているかについて、ホームページで見ることができます。  
[サポート窓口](#)のオンラインサポート



目次  
索引



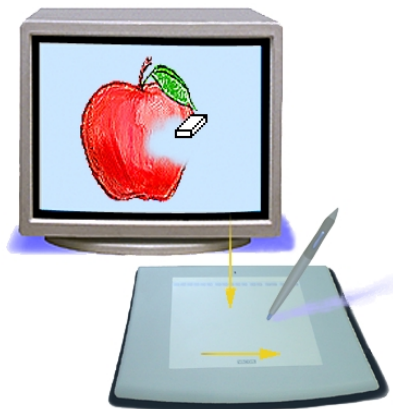
タブレットの使い方



ペンの使い方 27 ページ

## 消しゴムを使う

鉛筆に付いている消しゴムを使うように、テールスイッチの筆圧を使って自然に消すことができます。テールスイッチを操作面に近づけると、ポインタが自動的に消しゴムツールに変わります。(テールスイッチの消しゴム機能に対応しているグラフィックアプリケーションが必要です。)



消しゴム機能に対応していない、テキストを扱うアプリケーションや、表計算ソフトなどでは、テールスイッチで文字やセルをドラッグして選択し、放すことにより、ワンタッチで消去することができます。試しに Windows の「アクセサリ」から「メモ帳」を開いて文字を入力し、テールスイッチで文字をドラッグして放してみてください。選択した部分が消去されます。

**筆圧の感触を調整するには ...** [テールスイッチの筆圧感触を調整する](#)

どんなアプリケーションが消しゴムに対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

[サポート窓口](#)のオンラインサポート



目次  
索引



タブレットの使い方



ペンの使い方 28 ページ

## 読み取り高さ

ペン先やテールスイッチが読み取り高さ（約 6 mm）以内にあるとき、タブレットはペンの以下の情報を読み取ります。

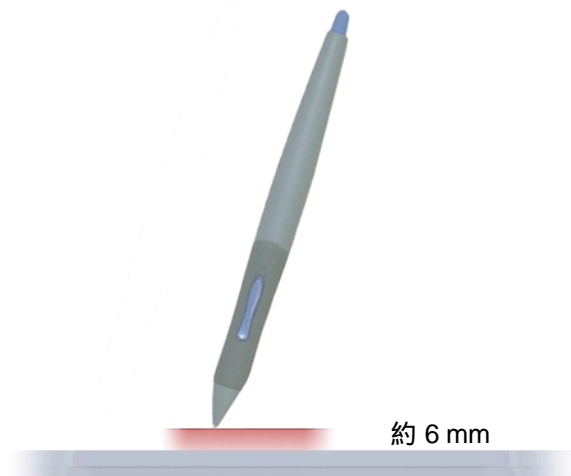
ペン先やテールスイッチの座標

ペン先やテールスイッチの荷重

サイドスイッチとセカンドスイッチの ON/OFF の状態（ペン先のみ有効）

ペンの傾きの大きさと方向

ペン先を浮かせたままでもサイドスイッチやセカンドサイドスイッチはご使用になれます。また、オーバーレイシートに原稿をはさむだけでなく、タブレットの上に薄い本を置いて、上からトレースすることもできます。



目次  
索引



タブレットの使い方



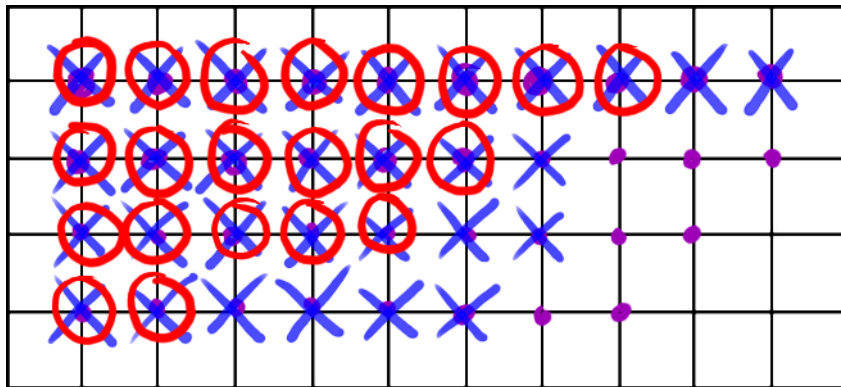
ペンの使い方 29 ページ

## 画面を見ながらペンを使う

通常、マウスをはじめてお使いになるとき、ポインタの操作に慣れるにはある程度時間を要します。ペンモード（絶対座標）でペンをはじめてお使いになるときも、ポインタの操作に慣れるため簡単な練習をおすすめします。一度ペンに親しむと、マウスモードに比べて速く自然な操作ができます。

以下の手順に従って、画面を見ながらペンを使ってみてください。

1. お手持ちのグラフィックアプリケーションを開き、線ツールを使って2～2.5cmの間隔で格子を描きます。（マウスを使ってもよいでしょう）
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンで×印をつけます。
4. 最後に、格子の交点を で囲んでください。（下の図のようになります）



**ポインティングのコツ：**  
タブレットを少し反時計回りに傾けて、手首を中心とするペンの動きがタブレットの横方向と平行になるように置くと、ポインティングが自然にできます。

5. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。

ペンを使うにつれてポインタの操作が簡単になり、ペンでマウスを代用できるようになります。

## タブレットと入力デバイスのお手入れ

タブレットの表面は清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりなどがかかると、操作面に傷が付いたり芯が早く摩耗したりします。

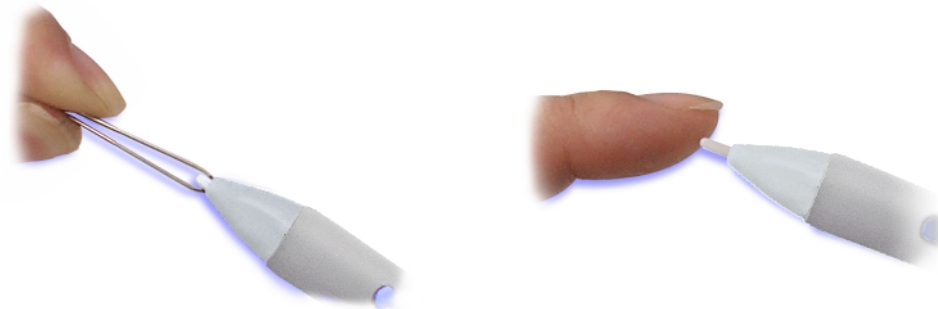
タブレットやペン、カーソルの汚れを落とす場合は、中性洗剤をうすめたものを清潔なやわらかい布にふくませ、かたくしぼってからふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性の液体を使用しないでください。表面が変質して戻らなくなります。

湿気の多いところ、温度変化の激しいところに保管しないでください。結露し故障の原因になります。タブレットや入力デバイスを分解しないでください。保証が無効になります。ペンを強くねじると壊れることがあります。

### 芯を交換する

長いあいだ電子ペンを使っていくうちに、ペン先が少しずつ磨耗していきます。使いにくくなりましたら芯を交換してください。

1. とげ抜きのようなもので芯をはさんで引き抜いてください。
2. 替え芯を止まるまで差し込んでください。



替え芯の型式... [消耗品](#)

## サイドスイッチのはずし方

サイドスイッチを使うことがない場合や、意図せずに押して操作の妨げになる場合は、サイドスイッチをはずすことができます。はずすと、コントロールパネルで設定できても、お使いにはなれません。

1. サイドスイッチのノブを、図のように爪などでしっかりつかんで引き抜いてください。サイドスイッチのノブの中心部分を、ラバーグリップを少し押しながらかみめます。

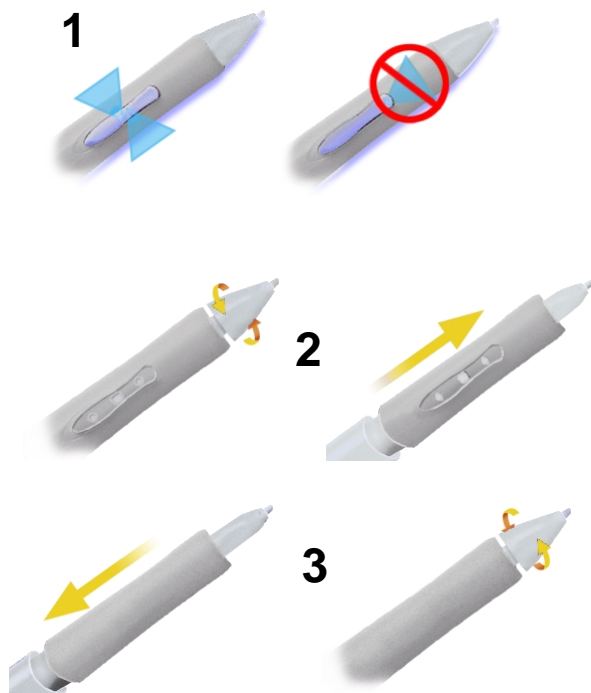
**重要:** 爪などでノブを端から無理にはずさないでください。取り付け部が破損することがあります。

2. キャップを反時計回りに回してはずし、ラバーグリップをまっすぐ引き抜きます。

**重要:** 中の部品は精密に調整されています。小さなドライバなどで触れないでください。

3. サイドスイッチのスロットがないラバーグリップを差し込みます。このとき、ラバーグリップ内側の溝とペン軸のレールを合わせます。

4. 次に、キャップを時計回りに回して取り付けます。(ラバーグリップが縮んでキャップとすき間がある場合は、引き伸ばして戻してください。)



## サイドスイッチの付け方

「サイドスイッチのはずし方」と逆の手順に従ってください。



## 2D マウスの使い方

2D マウスは、タブレット操作面上で通常のマウスと同じようにお使いいただけます（マウスモード）。ペンモードでもご使用になれます。

### 2D マウス標準設定

ホイールを回すと、1つのピッチで3行スクロール（アプリケーションが対応している場合）

押すと中ボタンクリック

右ボタンクリック



左ボタンクリック

**重要：**入力デバイスをタブレットの上に置いたまま、マウスなど他の入力機器を使うと、競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。使用しないときはタブレットの外に置いてください。

**ヒント：**ホイールマウス対応のMS Office アプリケーションでは、Ctrl キーを押しながらホイールを回すとズームイン、ズームアウトができます。

デバイスボタンの機能やホイールの設定は替えることができます。[2D マウスのボタンを設定する](#)、[2D マウスのホイールを設定する](#)

# コントロールパネルの使い方（基礎編）

コントロールパネルを操作することにより、タブレットやペンの機能を設定することができます。  
アプリケーションの用途や目的、タブレットの使いやすさなどに合わせて設定を変えることができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[ペン先の筆圧感触を調整する](#)

[ペン先のダブルクリックアシストを調整する](#)

[ペンスイッチを設定する](#)

[テールスイッチの筆圧感触を調整する](#)

[傾き感度を設定する](#)

[2D マウスのボタンを設定する](#)

[2D マウスのホイールを設定する](#)

[タブレットから画面へのマッピングを設定する](#)

[ポップアップメニューを設定する](#)

[ファンクションボックスの機能を設定する](#)

[シリアルタブレットの接続を確認する](#)

[USB タブレットのモードを設定する](#)

[プルダウンメニュー](#)



目次  
索引

## コントロールパネルを開く

1. ペンを使って Windows の「スタート」ボタンをクリックしてください。そして、「設定 (S)」から「コントロールパネル (C)」を選択してください。
2. タブレットのアイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリックすると、「Wacom Tablet」というコントロールパネルが現れます。

### Windows XP では ...

1. Windows の「スタート」ボタン 「プログラム (P)」 「Wacom Tablet」の順に開いてください。
2. 「Wacom Tablet」のグループにある「Wacom Tablet」を選択してください。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)

コントロールパネルを開く 35 ページ

# コントロールパネルの概要

このコントロールパネルを操作して、タブレットや入力デバイスを設定します。

左のリストに特定のアプリケーションを1つ登録します。\*

## プルダウンメニュー

ダイアログボックスなどを開きます。

## アプリケーションリスト\*

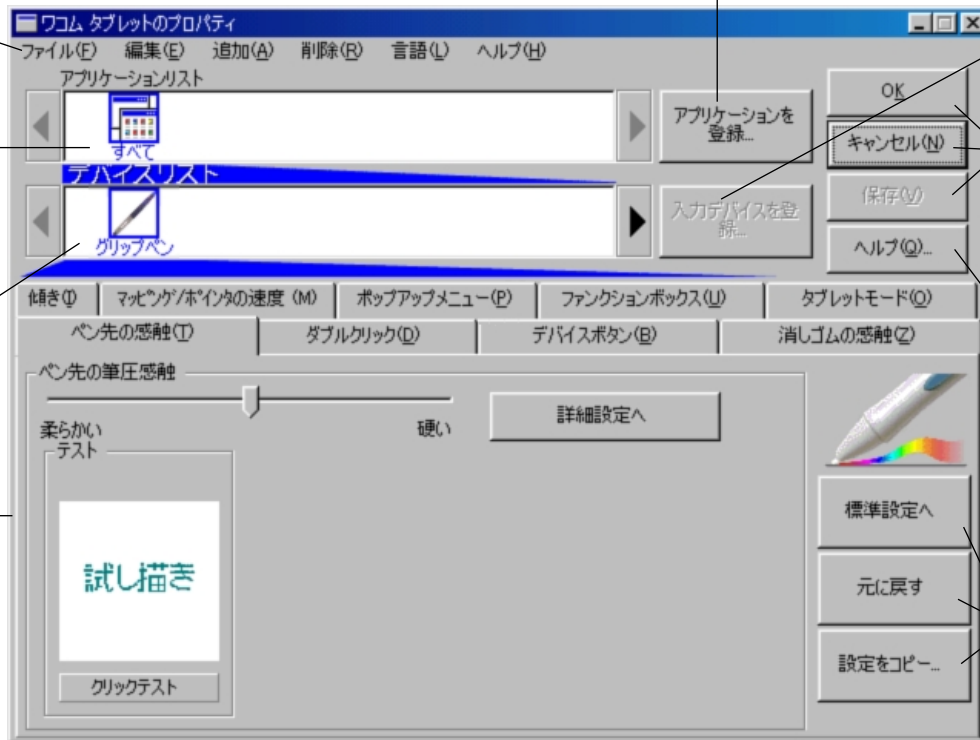
特定のアプリケーションを登録できます。

## 入力デバイスリスト\*\*

上で選択されたアプリケーションに属して設定される入力デバイスです。

## タブ

上で選択された入力デバイスに属する設定内容です。変更した場合は、コントロールパネルを閉じる前に「保存」か「OK」のボタンを押してください。



左のリストに入力デバイスを1つ登録します。\*\*

## コントロールパネルのボタン

コントロールパネル全体に働きます。

オンラインヘルプを開きます。内容は、このマニュアルの「コントロールパネルの使い方」の基礎編と応用編と同じです。

## タブのボタン

開いているタブに対して働きます。

ポインタをボタンなどの上でしばらく止めると、バルーンヘルプが現れます。

\* ... アプリケーションごとに異なる設定ができます。はじめてペンの設定をするときは操作する必要はありません。

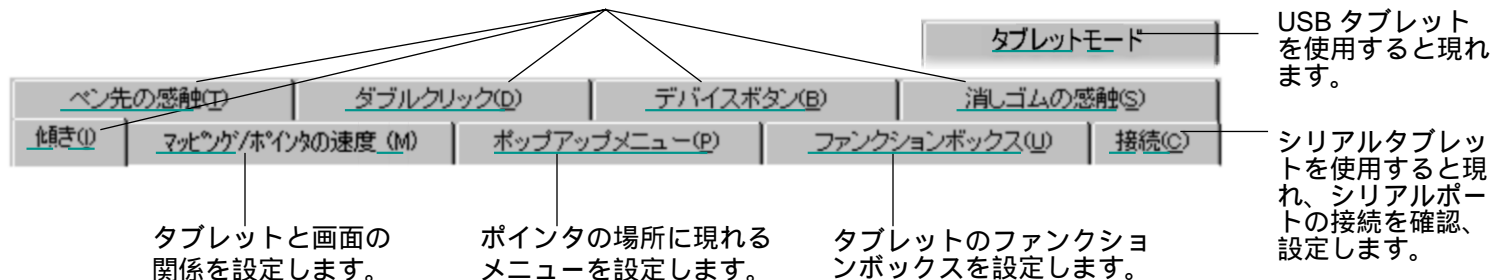
\*\* ... 2つ以上の入力デバイスを使うとき、入力デバイスを選択するとタブの設定が切り替わります。1本のペンだけを使うときは、必要なタブがすべて現れていますので操作する必要はありません。

## タブ

タブレットやペンなどを設定するには、コントロールパネルのタブを使います。

### ペンのタブ

ペンを設定します。

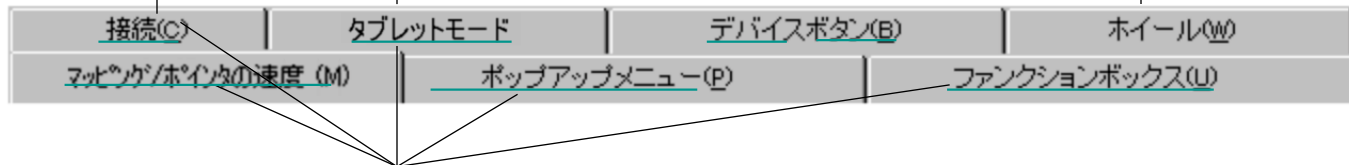


### マウスのタブ

シリアルタブレットを使用すると現れます。

USB タブレットを使用すると現れます。

2D マウスや 4D マウスを選択すると現れます。



これらのタブの設定は、入力デバイスの別にかかわらず**共通**です。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)



コントロールパネルの概要 37 ページ

タブのボタンは、開いているタブの設定内容に対してのみ働きます。

標準設定へ

—— 開いているタブの設定内容を、標準設定に戻します。

元に戻す

—— 開いているタブの設定内容を、最後に「OK」ボタンまたは「保存」ボタンを押したときのもの（いずれか新しい方）に戻します。設定し直すとき便利です。

設定をコピー...

—— 開いているタブの設定内容を、現在の入力デバイスやアプリケーションから他のものへコピーするため、ダイアログボックス「[設定をコピー ...](#)」を開きます。

それぞれのタブを開いて、タブレットやペンなどを用途に合わせて使いやすく設定してください。



目次  
索引



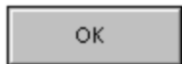
コントロールパネルの使い方（基礎編）



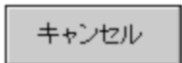
コントロールパネルの概要 38 ページ

## コントロールパネルのボタン

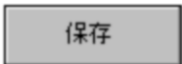
コントロールパネルのボタンは、タブの設定内容と、アプリケーションリスト、入力デバイスリスト、プルダウンメニューのすべての項目に対して働きます。



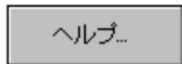
... コントロールパネルを閉じて変更内容を保存します。



... コントロールパネルを閉じますが変更内容は保存しません。以前の設定のままです。



... コントロールパネルを開いたまま変更内容を保存します。



... オンラインヘルプを開きます。

ダイアログボックスの中のヘルプボタンを押すと、そのダイアログボックスの説明が現れます。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)



コントロールパネルの概要 39 ページ

## ペン先の筆圧感触を調整する

「ペン先の感触」のタブを選択します。太い線を引いたり、軽いタッチでクリックしたいときは、スライダを「柔らかい」の方へ動かします。力を入れて描きたいときは、「硬い」の方へ動かします。

「硬い」から「柔らかい」までを6段階で設定します。

[詳細設定](#) を表示します。

詳細設定が有効なとき  
チェックマークが付き  
ます。



現在設定されている筆圧感触をテストします。この中で、荷重を変えながら何回か試し描きしてください。

現在のクリック筆圧をテストします。ここをペン先で押しってください。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)

ペン先の筆圧感触を調整する 40 ページ



## ペン先のダブルクリックアシストを調整する

ダブルクリックのタブの中で、ダブルクリック距離（2回目のクリックの場所がずれてもよい距離）を大きくし、ダブルクリックの速度を遅くすると、ペン先によるダブルクリックが簡単にできるようになります。ただし、グラフィックアプリケーションでは、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで、あるいはダブルクリックの時間が過ぎるまでは線が現れないことがありますので、ダブルクリック距離は小さくしてセカンドサイドスイッチによるダブルクリックをお勧めします。

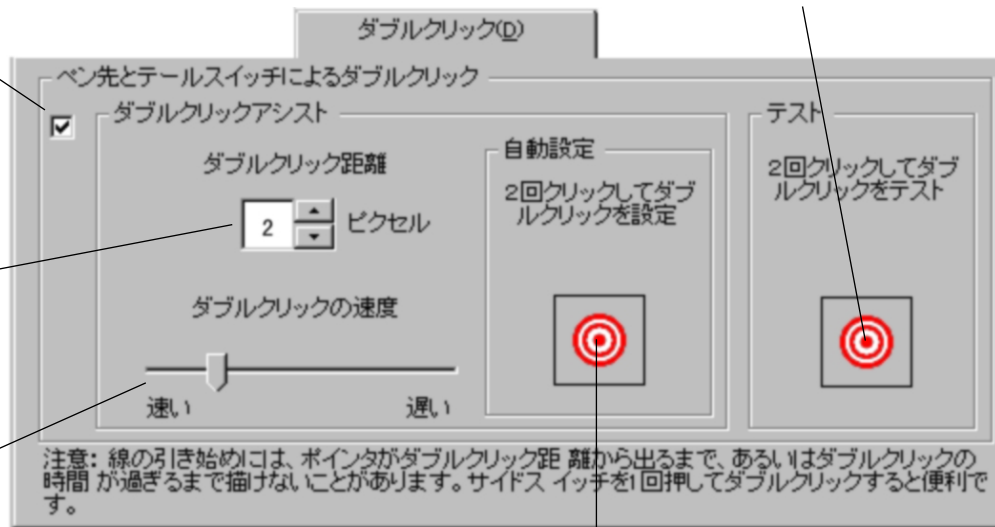
チェックマークを付けると、**ダブルクリックアシスト**の設定が使用されます。

参考：ダブルクリックアシストは、アプリケーションを切り替えることにより自動的に ON/OFF させることができます。[アプリケーションごとに設定を変える](#)

2回目のクリックがずれてもよい距離を 1 から 25 の範囲で設定できます。数値を入力するか、上下の矢印をクリックしてください。

ペン先でダブルクリックするとき、遅くするとゆっくりダブルクリックができます。ただし、グラフィックアプリケーションで線を引き始めるとき、ダブルクリックの時間が過ぎるまで線が引けないことがあります。

設定を使用する前に、ターゲットをダブルクリックしてテストしてください。



ターゲットをペン先でダブルクリックすると、その特長をもとにダブルクリックの距離と速度を自動設定します。

## ペンスイッチを設定する

デバイスボタンのタブの中でサイドスイッチやセカンドサイドスイッチ、テールスイッチ、ペン先が押されたときに働く機能を設定します。

デバイスボタン(B)

テールスイッチの機能

消しゴム

スイッチの機能

左ダブルクリック

右ボタンクリック

左ボタンクリック

テールスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

セカンドサイドスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

サイドスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

ペン先が押されたときに働く機能を設定します。グラフィックアプリケーションを使用するときは左ボタンクリックに設定してください。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)

ペンスイッチを設定する 42 ページ

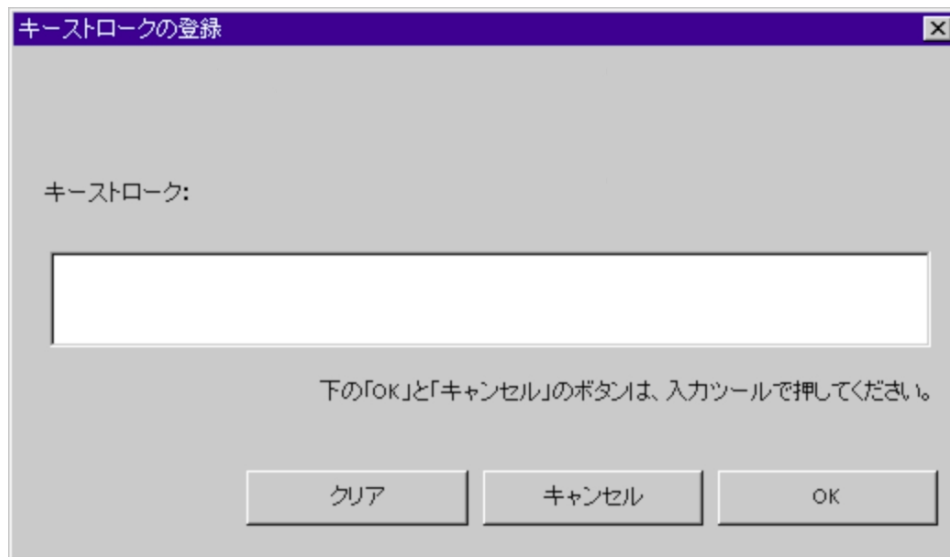
## ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能

それぞれのスイッチが押されたときに働く機能を、プルダウンメニューの以下の項目の中から選択します。スイッチによっては、選択肢が制限されているものがあります。

- 左ボタンクリック** ----- マウスの左ボタンを押すことに相当します。少なくともいずれか1つのペンスイッチに設定されていないとクリックができなくなります。(ペン先の標準設定)
- 左ダブルクリック** ... ----- スイッチを1回押すとダブルクリックしたことになります。ペン先でダブルクリックするより簡単です。(セカンドサイドスイッチの標準設定)
- 右ボタンクリック** ... ----- マウスの右ボタンを押すことに相当します。(サイドスイッチの標準設定)
- 中ボタンクリック** ... ----- マウスの中ボタンを押すことに相当します。
- 左クリックロック** ... ----- スイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。次にペン先などでクリックすると、左ボタンから指を放すことに相当します。



キーストローク ...----- スイッチを押すと、このダイアログボックスで設定するキーボード入力の代わりにします。設定したいキーを入力したら、「OK」ボタンをクリックしてください（リターンキーも入力できるのボタンを押すのには使えません）。キーストロークには1つの文字キーやファンクションキーに加え、「Shift」<sub>⌘</sub>、「Alt」<sub>⌘</sub>、「Ctrl」キーを組み合わせることができます。「Shift」<sub>⌘</sub>、「Alt」<sub>⌘</sub>、「Ctrl」キーを入力する場合は同時に文字キーも押してください。



**Shift、Alt、Ctrl キー ...** - - - - - 以下のダイアログボックスで設定する Shift、Alt、Ctrl キーなどの入力の代わりにします。



Shift、Alt、Ctrl キーの組み合わせに、「クリック」を加えることができます。



**筆圧一定** ----- スイッチが押されている間、筆圧レベルは一定です。たとえば、同じ太さで線を引くことができます。

**ペン マウス モード** ----- **ペンモード**（絶対座標）と **マウスモード**を切り替えます。スイッチをはじめてこの機能に設定すると、以下の画面が現れて、ポインタの加速と速度を設定できます。

マウスモードでのポインタの速度を設定します。

マウスモードでのポインタの加速を設定します。



この画面はコントロールパネルの他の場所からも開くことができますが、ポインタの加速と速度は、設定しているそれぞれの入力デバイスとアプリケーションについて1つ設定できます。



- ポップアップメニュー** ---- ポインタの場所にポップアップメニューを表示します。 [ポップアップメニューを設定する](#)
- 消しゴム** ----- スイッチの機能を消しゴムに設定します（テールスイッチの標準設定）。  
[消しゴムを使う](#)
- 無効**----- (ペンスイッチのみ) スイッチが押されても何もしません。
- アプリケーションの設定に ..** (4D マウスやレンズカーソルのみ) [ボタンの番号](#)がアプリケーションに送られます。タブレットとカーソルに対応している CAD アプリケーションでのコマンドの実行などにお使いください。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（基礎編）



ペンスイッチを設定する 47 ページ

## テールスイッチの筆圧感触を調整する

「消しゴムの感触」のタブを選択します。軽いタッチで消したいときは、スライダを「柔らかい」の方へ、力を入れて消したいときは、「硬い」の方へ動かします。

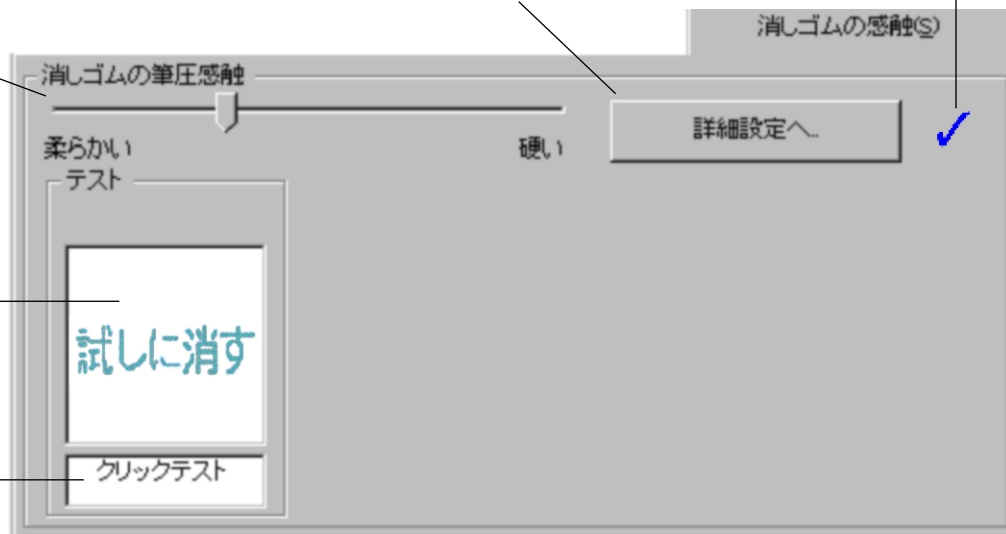
「硬い」から「柔らかい」までを6段階で設定します。

詳細設定を表示します。

詳細設定が有効なとき  
チェックマークが付きます。

現在設定されている筆圧感触をテストします。この中で、荷重を変えながら何回か消してください。

現在のクリック筆圧をテストします。ここをテールスイッチで押してください。

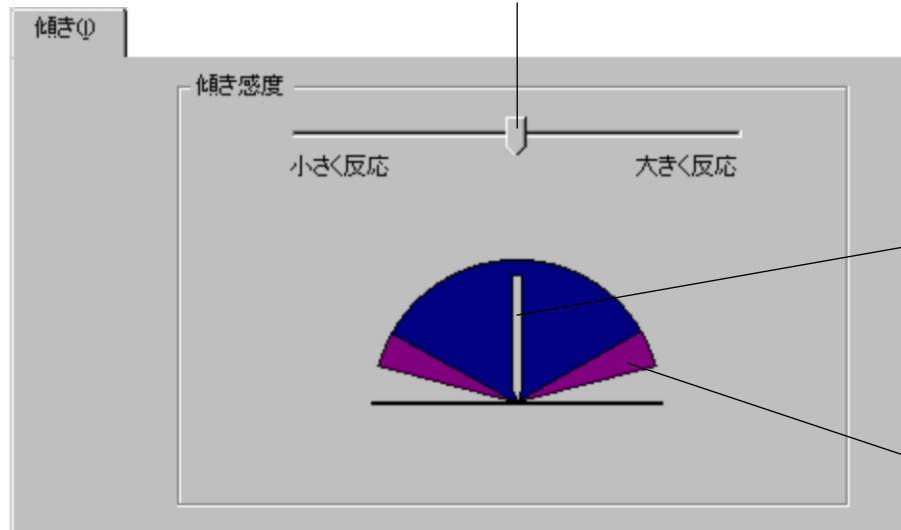




## 傾き感度を設定する

「傾き」のタブを選択します。アプリケーションに伝わるペンの傾きの感度を調節します。

実際のペンの傾きをどれくらいの感度でアプリケーションに伝えるかを調整します。



アプリケーションに伝わる傾きの方向と大きさが、視覚的に表示されます。

参考：傾きの方向も対応アプリケーションに伝わります。たとえば、ペン先の方向を操作できます（アプリケーションの対応が必要です）。

アプリケーションに伝わる傾きの範囲です。「傾き感度」の設定により、広くなったり狭くなったりします。アプリケーションに伝わる傾きは約60°までです。

どのアプリケーションが傾きに対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

[サポート窓口](#)のオンラインサポート



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（基礎編）

傾き感度を設定する 49 ページ

## 2D マウスのボタンを設定する

「デバイスボタン」のタブを開いて、2D マウスのボタン機能を設定します。



ボタンを押したときに働く機能を選択します。

設定できる機能は、ペンスイッチと同じです。[ペンスイッチ](#)や[ボタンスイッチ](#)に設定できる機能

ボタンは複数同時に押すことができます。例：Ctrl+Z など。

## 2D マウスのホイールを設定する

2D マウスのホイールは、Microsoft IntelliMouse に対応する多くのアプリケーションで、IntelliMouse と同様にお使いいただけます。

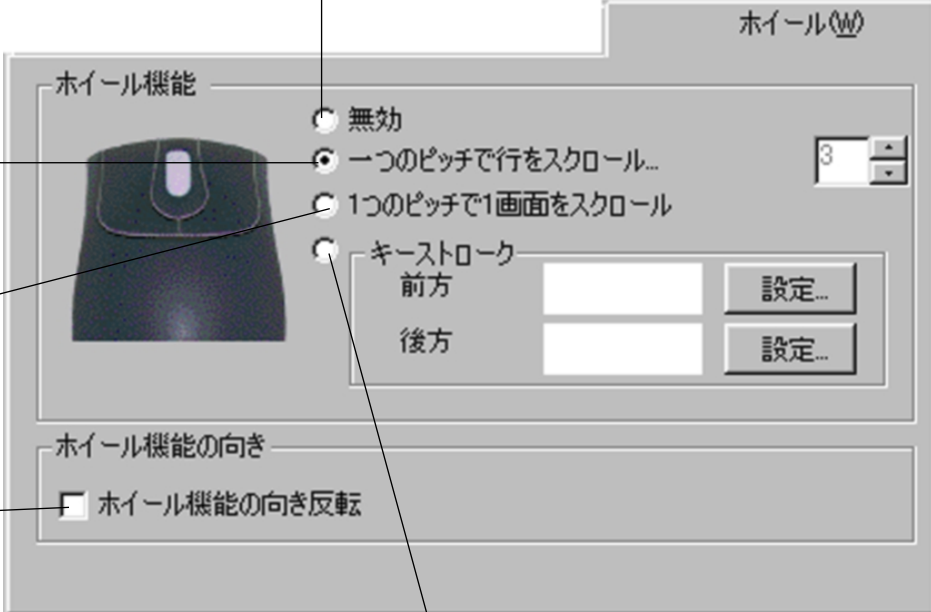
ホイールを回しても何もしません。

ホイールのピッチを1つ回すごとに、右のボックスで設定した行数をスクロールします。1行から15行まで設定できます。

ホイールのピッチを1つ回すごとに、1画面ずつスクロールします。

選択すると、ホイール機能の前方と後方が入れ替わります。

ホイールを回すと、ここに設定したキーストロークがピッチごとに繰り返しアプリケーションに送られます。ズームイン、ズームアウトなどに便利です。キーストロークを設定するには「設定」ボタンを押します。



ホイール機能

無効  
一つのピッチで行をスクロール...  
一つのピッチで1画面をスクロール  
キーストローク

前方  
後方

設定...  
設定...

ホイール機能の向き

ホイール機能の向き反転

# タブレットから画面へのマッピングを設定する

「マッピング/ポインタの速度」のタブを開いて、ペンの動きとポインタの動きとの関係を設定します。

## ペンモードのマッピングタブ

座標検出モードがペンモード(絶対座標)のときは、画面のポインタの位置が、操作エリアの読み取り高さ以内のペンの位置に常に対応します。

アプリケーションの用途などに合わせて タブレット操作エリア を選択します。

座標検出モード が ペンモード(絶対座標) のときは、画面のポインタの位置が、操作エリアの読み取り高さ以内のペンの位置に常に対応します。

タブレットの向き を変えるときは選択します。

タブレットの表示エリア ペンの動きからポインタが届く画面の範囲を設定します。

タブレットとの関係 操作エリアがどんな関係で表示エリアにマッピングされるかを設定します。

### クイックポイントモード (A4 タブレット以上)

メニュー選択などの一般的な操作のため小さなクイックポイントエリアを下に、グラフィック加工用の大きな操作エリアを上 に 設けます。クイックポイントエリアは全画面をカバーできます。大きな操作エリアには「表示エリア」と「画面との関係」を設定できます。

マッピングを詳細に設定する ダイアログボックスを開きます。

**参考:** 複数の入力デバイスを入力デバイスリストに登録した場合、このタブの、「タブレットの向き」以外は入力デバイスごとに設定されます。設定したい入力デバイスを使ってコントロールパネルを開いてください。

## 座標検出モード

ペンモードでは、画面のポインタの位置が操作エリア内のペンの位置に常に対応します（絶対座標）。ペンやエアブラシの標準設定です。

マウスモードでは、操作エリア内の読み取り高さ以内でペンが動いたときだけ画面のポインタが移動します（相対座標）。2D マウスや 4D マウスの標準設定です。

**参考：**ペンモードとマウスモードとの切り替え機能がタブレットのファンクションボックスや画面に現れるポップアップメニューに登録されていると、そのボタンをクリックしても切り替えられません。 [ファンクションボックスの機能を設定する](#)、 [ポップアップメニューを設定する](#)

## タブレットの向きを変える

以下のような場合に、タブレットの向きを変えると便利です。

ファンクションボックスを横か下に配置して使いたいとき。

縦に長い素材を、広い操作エリアで扱うとき。

ケーブル取り付け位置が操作の妨げになるときなど。

通常 ----- 標準設定です。

時計回り 90° ----- 操作面は縦長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは右になります。

逆さ ----- 操作面は横長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは下になります。

反時計回り 90° ----- 操作面は縦長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは左になります。

向きの設定が終わったら、ポインタがペンの動きに付いてくることを確認してください。

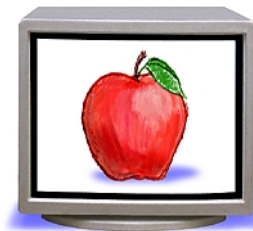
**重要：**「タブレットの向き」は、アプリケーションリストと入力デバイスリストの中にあるものすべてに適用されます。

## タブレットとの関係

タブレットの操作エリアが画面の表示エリアへどんな関係でマッピングされるかを設定します。



**縦横比を保持：**操作エリアの縦横比を表示エリアが保ちます。操作エリアを変えると（「操作面の一部分」）表示エリアも操作エリアの縦横比を保ちながら変形します。「画面の一部分...」から表示エリアを拡大縮小できます。



**四隅を一致：**選択された操作エリアが、選択された表示エリアにマッピングされます。縦横比は保持されません。操作エリアと表示エリアは独立して自由に設定できます。（標準設定）



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（基礎編）



タブレットから画面へのマッピングを設定する 54 ページ

## タブレット操作エリア

操作面全体のうちの部分を操作エリアとして表示エリアにマッピングするかを設定します。

操作面全体を操作エリアとして画面にマッピングします。(標準設定)

操作面の一部を操作エリアとして自由に選択できるダイアログボックスを表示します。

(A4 タブレット以上)

クイックポイントエリア(小さな操作エリア)を下に、グラフィック加工用の大きな操作エリアを上に出します。クイックポイントエリアは、手首と指の小さな動きですべてのモニタの画面をカバーできます。大きな操作エリアに対しては「タブレットの表示エリア」と「タブレットとの関係」の設定ができます。



クイックポイントエリアを操作面の右下に設定します。

クイックポイントエリアを操作面の左下に設定します。

複数の入力デバイスをお使いの場合、それぞれの入力デバイスに対して異なる操作エリアを設定すると便利です。たとえば、ペンに操作面全体を設定し、4D マウスには小さなエリアを設定すると、ペンでは細かく絵を描くことができ、4D マウスではメニュー選択などコンピュータの一般的な操作を、速く大胆に行うことができます。



## 操作面の一部分を操作エリアに設定

以下の3とおりの方法があります。

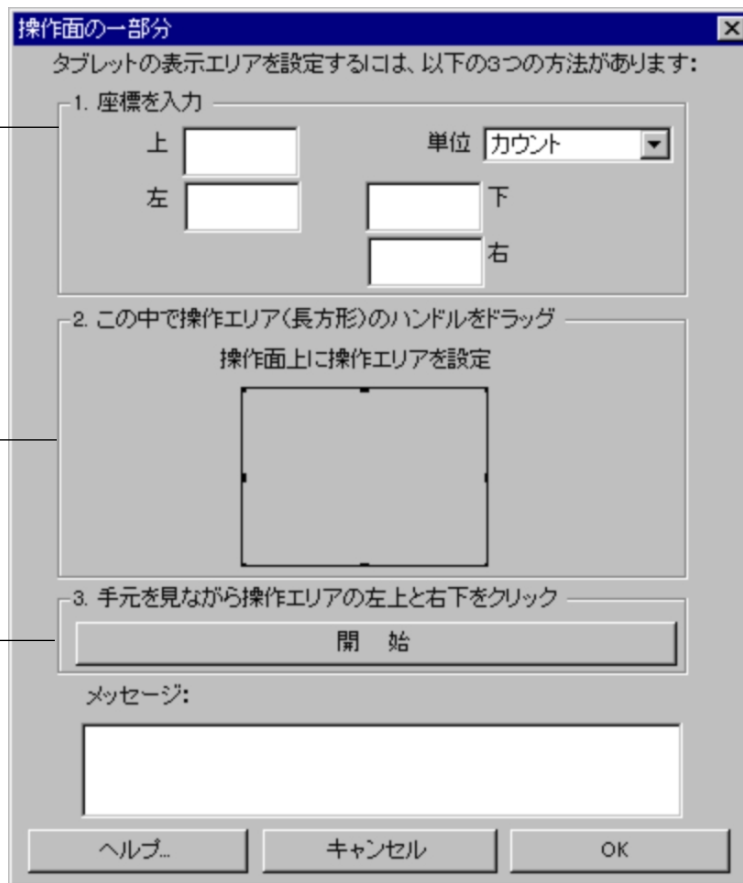
座標を入力して操作エリアを設定します。

1. 表示される座標値の単位を選択します。  
(1 カウントは、タブレットの解像度の線1本に相当します。)
2. 操作エリアの上端、左端、下端、右端の座標を入力します。このとき、座標の原点は操作面の左上です。

前面に表示されている長方形は操作エリアを、背景の長方形は操作面を表します。操作エリアを、頂点のハンドルを動かして設定します。上に表示されている座標値も連動して変わります。

手元を見ながら、入力デバイスで操作エリアの左上と右下をクリックして操作エリアを設定します。

1. 「開始」ボタンをクリックします。
2. メッセージボックスの指示や説明に従って操作エリアを設定します。



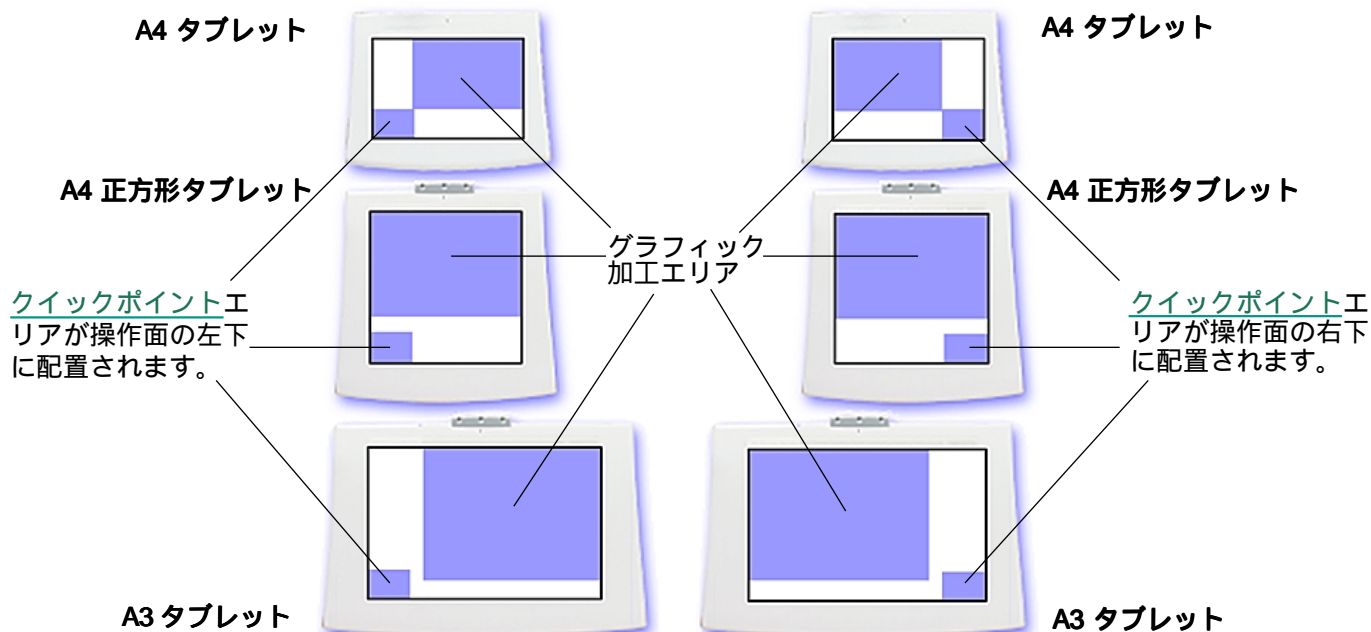
**注意：**操作面の一部分を操作エリアに設定するとき、表示されたメッセージは必ずお読みください。



## クイックポイントモード (A4 タブレット以上)

タブレットのファンクションボックスや、ポインタのポップアップメニューにクイックポイントモードが設定されていると、ワンタッチでクイックポイントモードに切り替えることができます。

[ファンクションボックスの機能を設定する](#)、 [ポップアップメニューを設定する](#)



クイックポイントエリアとグラフィック加工エリアの区分は、長方形の境界として透明オーバーレイシートに印刷されています。

## タブレットの表示エリア

「タブレット操作エリア」で設定された操作エリアが、画面のどのエリアにマッピングされるかを設定します。操作エリアを画面の一部に設定すると、タブレットを使って画面のポインタを表示エリアの外に出すことはできません。

**画面全体** ----- 操作エリアから届くポインタの表示エリアを、モニタの画面全体に設定します。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (基礎編)

タブレットから画面へのマッピングを設定する 58 ページ

画面の一部分 ... ----- 「画面の一部分」のダイアログボックス表示します。3 とおりの設定方法があります。

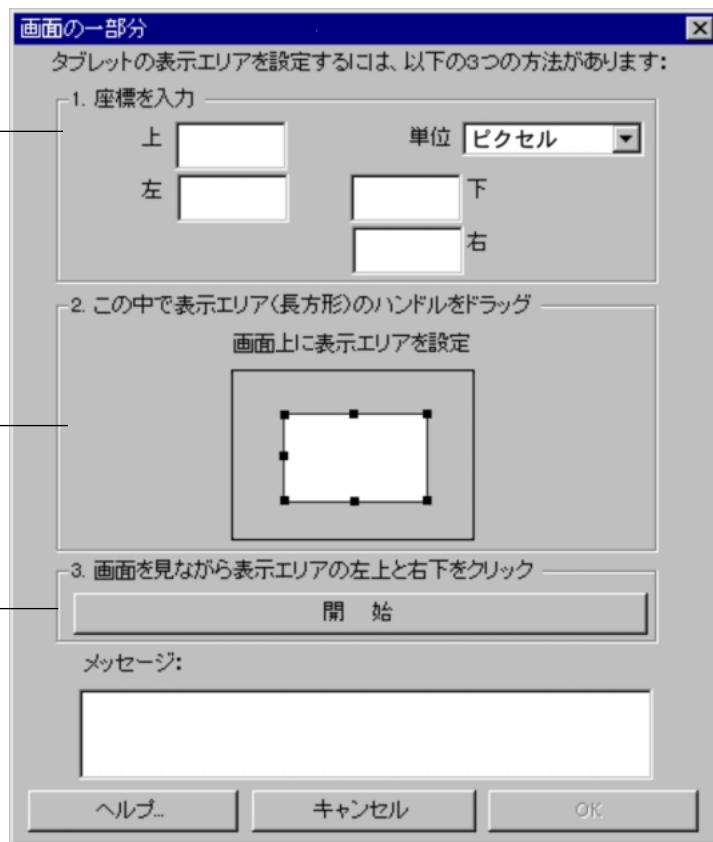
座標を入力して表示エリアを設定します。

1. ダイアログボックス内に表示される座標値の単位を選択します。
2. 表示エリアの上端、左端、下端、右端の座標を入力します。

前面に表示されている長方形は表示エリアを、背景の長方形は画面を表します。表示エリアの形と大きさを、頂点のハンドルをドラッグして設定します。表示エリアの位置を、長方形をドラッグして設定します。

画面を見ながら、ポインタで表示エリアの左上と右下をクリックして設定します。

1. 「開始」ボタンをクリックします。
2. メッセージボックスの指示や説明に従って操作エリアを設定します。



**重要：** 画面の一部分を表示エリアに設定するとき、メッセージボックスに表示されたメッセージは必ずお読みください。

# マウスモードのマッピングタブ

座標検出モードが マウスモード のときは、操作エリア内の 読み取り高さ 以内でペンが動いたときだけ、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します（相対座標）。

マウスモード時のポインタの加速を選択します。



タブレットの向きを変えるとき選択します。

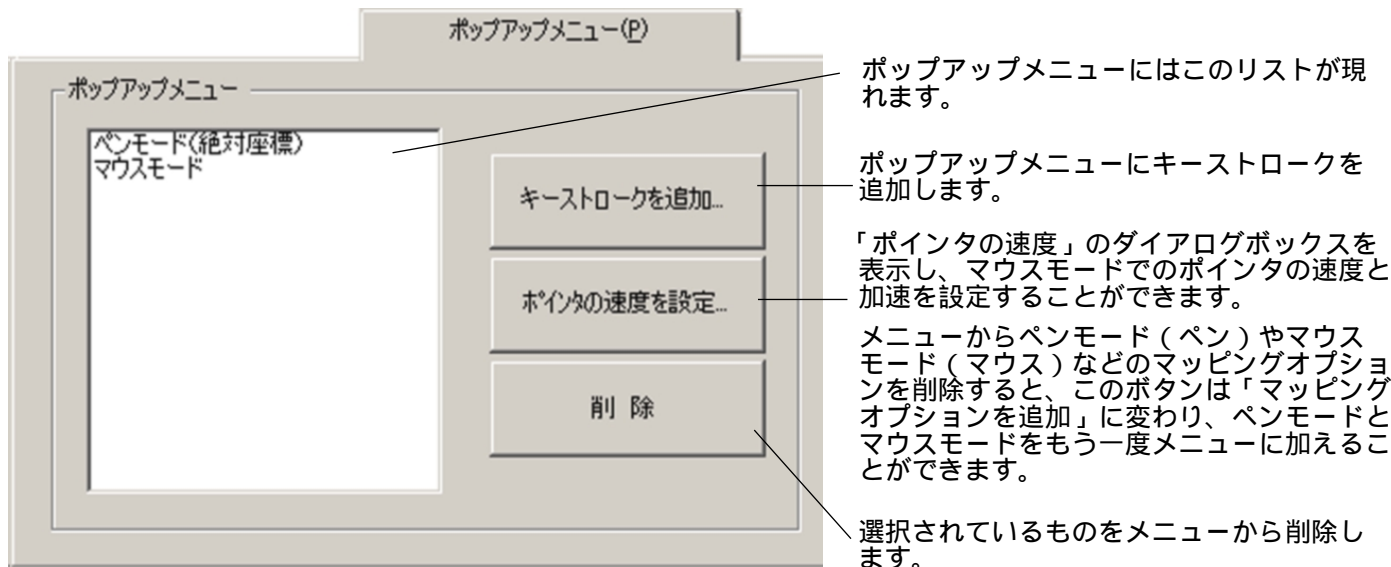
マウスモード時のポインタの速度を選択します。



## ポップアップメニューを設定する

「ポップアップメニュー」のタブには、キーストロークとマッピングオプションを登録できます。

サイドスイッチなどの機能を「ポップアップメニュー」に設定すると、スイッチを押したとき、ここで登録したポップアップメニューがポインタの場所に表示されます。メニューの中から選択すると実行されます。実行せずにポップアップメニューを閉じるには、外側のどこかをクリックします。



### キーストロークを追加する

「キーストロークを追加 ...」のボタンをクリックすると、「キーストロークの登録」というダイアログボックスが現れます。キーストロークを入力して、その名前を登録してください。ポップアップメニューに追加されます。アプリケーションごとに異なる設定もできます。 [アプリケーションごとに設定を変える](#)



目次  
索引



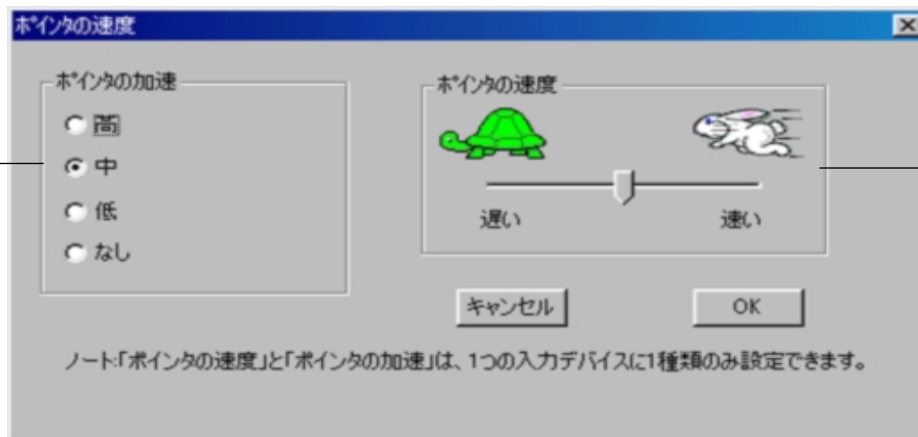
コントロールパネルの使い方（基礎編）

ポップアップメニューを設定する 61 ページ

## ポインタの速度を設定する

「ポインタの速度を設定 ...」のボタンをクリックすると、「ポインタの速度」のダイアログボックスを表示し、マウスモードでのポインタの速度と加速を設定することができます。

マウスモードでのポインタの加速を設定します。



マウスモードでのポインタの速度を設定します。

このダイアログボックスは、ペンスイッチに「ペン マウス モード」をはじめて選択したときにも表示されます。

メニューからペンモード（ペン）とマウスモード（マウス）のマッピングオプションを削除すると、このボタンは「マッピングオプションを追加」に変わり、ペンモードとマウスモードをもう一度メニューに加えることができます。**ペンモードでは**、画面のポインタの位置がペン先の位置に常に対応します。ペン先を近づけた瞬間、ポインタはペン先の位置に対応する場所に現れます。

**マウスモードでは**、タブレットの読み取り高さ以内でペンが動いたときだけ、動いた方向と距離に応じて画面のポインタが移動します。

## マッピングオプションを追加する

「ポインタの速度を設定 ...」のボタンの代わりに「マッピングオプションを追加」のボタンがあるとき、このボタンをクリックすると、ペンモード（絶対座標）、マウスモード、クイックポイントモードの3つのマッピングオプションが、ポップアップメニューにまとめて追加されます。（クイックポイントモードは A4 タブレット以上に限ります）

## ポップアップメニューから項目を削除する

「削除」のボタンをクリックすると、ポップアップメニューのリストの中でハイライト表示されている機能が削除されます。マッピングオプションはまとめて削除されます。（「Shift」キーを押しながらクリックすると複数を選択できます。）



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（基礎編）



ポップアップメニューを設定する 63 ページ

## ファンクションボックスの機能を設定する

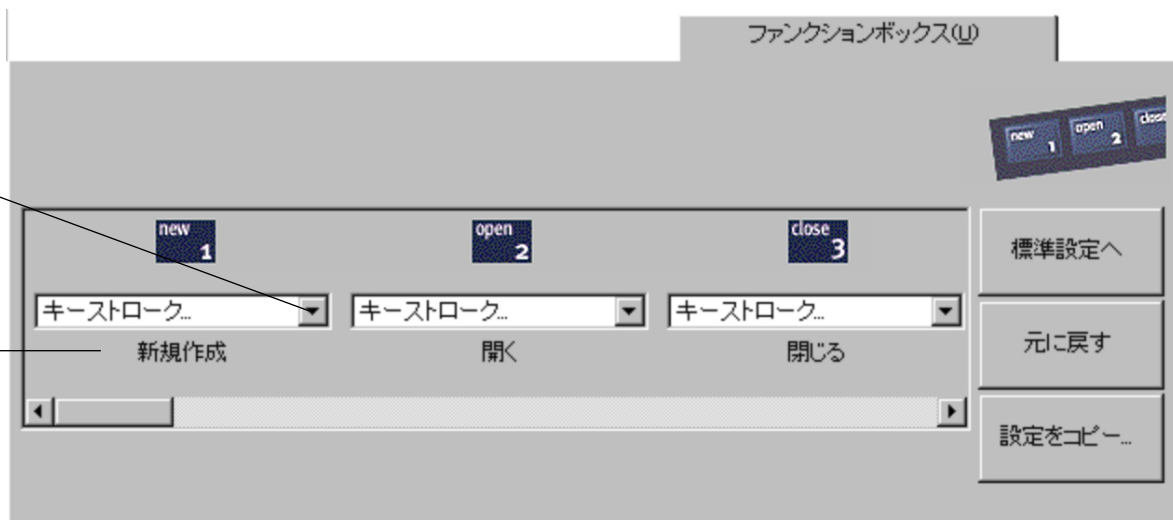
「ファンクションボックス」のタブを開いて、それぞれのボタンの機能を設定します。標準設定では、機能が印刷されていないボタン（A5 タブレット以上）には「無効」が選択されています。

標準設定の各ボタンの機能については ... [ファンクションボックスの機能](#)

ボタンが押されたときに働く機能を選択します。

「標準設定」を選択すると、キーロックが、印刷されている機能に設定されます。

「キーロック」をもう一度選択すると、キーロックを変更できます。



各ボタンの機能はスクロールリストの以下の中から選択できます。





- (キーストローク名)-----登録されているキーストロークが働きます。
- 柔らかい筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を「柔らかい」に設定します。
- 硬い筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を「硬い」に設定します。
- 普通の筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を標準設定にします。
- ペンモード(絶対座標)----座標検出モードを「ペンモード」にします。
- マウスモード-----座標検出モードを「マウスモード」にします。ファンクションボックスではじめて「マウスモード」を選択すると、「ポインタの速度」のダイアログボックスが表示され、マウスモードでのポインタの速度と加速を設定することができます。
- クイックポイントモード---操作エリアを「クイックポイントモード」にします。(A4 タブレット以上)
- 無効-----押されても何もしません。入力デバイスがボタンの上に来てもボタンの番号は画面に表示されません。
- 標準設定-----ファンクションボックスを、台紙に印刷されている標準設定に戻します。
- 参考：**ファンクションボックスのボタンの機能は、アプリケーションごとに異なる設定ができますが、入力デバイスごとには異なる設定できません。
- ボタンの設定を変えて長期間使用する場合は、ファンクションボックスの台紙に機能を鉛筆などで書き入れることができます。(A5 タブレット以上)



目次  
索引



コントロールパネルの使い方(基礎編)



ファンクションボックスの機能を設定する 65 ページ

## シリアルタブレットの接続を確認する

シリアルタブレットをお使いの場合、「接続」のタブを開くと、シリアルポートの接続状態を確認、設定できます。

### 選択されたシリアルポートの状態

正常に通信 ..... タブレットは接続されて正常に通信しています。

反応なし ..... タブレットはコンピュータと通信していません。

競合 ..... 他のアプリケーションがシリアルポートを使用しています。

ドライバ OFF .. タブレットドライバはOFFです。

チェックマークが付いていると、  
タブレットドライバはONです。

すべてのシリアルポートの状態が表示  
されます。タブレットが使用して  
いるポートが選択されます。他の機  
器が使用しているポートはグレーで  
表示されます。

グラフィックアプリケーションを使  
う場合はこちらを選択してください。

文字認識を使用する場合はこちらを  
選択してください。1つめの入力デ  
バイスのみ使用でき、高速でデー  
タをアプリケーションに送ります。

1つの入力デバイスしか使用できませ  
ん。2つ同時に置かないでください。



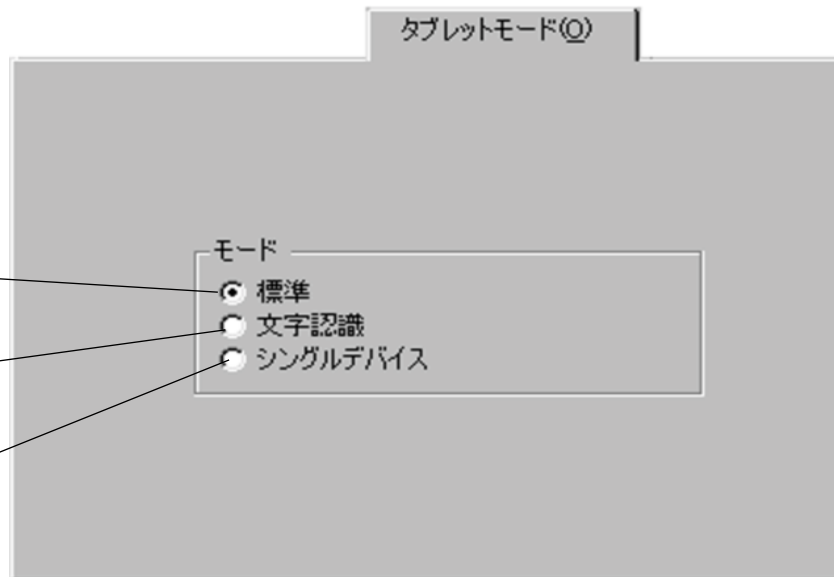
## USB タブレットのモードを設定する

USB タブレットをお使いの場合、「タブレットモード」のタブを開くと、タブレットの動作モードを確認、設定できます。

グラフィックアプリケーションを使用する場合はこちらを選択してください。

文字認識を使用する場合はこちらを選択してください。1つめの入力デバイスのみ使用でき、高速でデータをアプリケーションに送ります。

1つの入力デバイスしか使用できません。2つ同時に置かないでください。



## プルダウンメニュー

プルダウンメニューでは、コントロールパネルの総合的な操作をしたり、オンラインドキュメントへのアクセスなどを行います。

ワコム タブレット

ファイル(F) 編集(E) 追加(A) 削除(R) 言語(L) ヘルプ(H)

### ファイルメニュー

- 設定一覧 ... ----- 現在の設定内容を一覧するダイアログボックスを開きます。
- 終了 ----- コントロールパネルを終了します。

### 編集メニュー

- 設定をコピー ... ----- 設定内容を他の入力デバイスやアプリケーションへコピーするダイアログボックスを開きます。「設定をコピー ...」のタブのボタンを押しても同じです。
- 設定をリセット ... ----- 設定内容をリセットするダイアログボックスを開きます。条件を選択して、標準設定や初期状態へ戻します。
- 入力デバイスを別名に ... ----- 入力デバイスに名前をつけるダイアログボックスを開きます。
- 一般設定 ... ----- 入力デバイスの右手用左手用の設定や、警告メッセージの ON/OFF、サイドスイッチのモードを切り替えるダイアログボックスを開きます。

### 追加メニュー

- タブレットを追加 ... ----- タブレットを追加するダイアログボックスを開きます。 [複数のタブレットを接続する](#)



**アプリケーションを登録 ...** - アプリケーションリストに特定のアプリケーションを登録するダイアログボックスを開きます。コントロールパネルの「[アプリケーションを登録 ...](#)」のボタンを押すのと同じです。

**入力デバイスを登録 ...** - コントロールパネルの入力デバイスリストの中に入力デバイスを登録するダイアログボックスを開きます。「[入力デバイスを登録 ...](#)」のボタンを押すのと同じです。

## 削除メニュー

**タブレットを削除 ...** - 現在接続しているタブレットをコントロールパネルから削除するダイアログボックスを開きます。(1つしかないときは削除できません)

**アプリケーションを削除 ...** - アプリケーションリスト内に登録されている特定のアプリケーションを削除するダイアログボックスを開きます。

**入力デバイスを削除 ...** - コントロールパネルから入力デバイスを削除するダイアログボックスを開きます。(1つしかないときは削除できません)

## 言語メニュー

コントロールパネルを英語表示にすることもできます。

## ヘルプメニュー

**ヘルプ ...** - ヘルプを開きます。

**マニュアル ...** - マニュアルを開きます。

**使いはじめのコツ ...** - タブレットや入力デバイスをはじめてお使いになる方のために、簡単なアドバイスを表示します。

**診断 ...** - タブレットや入力デバイスの動作確認のための情報を表示します。

**バージョン情報 ...** - コントロールパネルやタブレットドライバについての情報を表示します。

# プロフェッショナルデバイスの使い方

intuos 2 タブレットには、ペンの他にも、エアブラシや 4D マウス、レンズカーソルをご使用になれます。入力デバイスひとつひとつに書き込まれている [デバイス ID](#) をタブレットが識別しますので、同じタブレットに対して多くの入力デバイスを個別の設定で使用することができます。たとえば、同じ種類のペンを何本でも識別します。(アプリケーションの対応により、2 つのポインタを表示して同時に 2 つまで使用できます。)

[エアブラシの使い方](#)

[4D マウスの使い方](#)

[レンズカーソルの使い方](#)

[2 つの入力デバイスを同時に使う](#)



目次  
索引

## エアブラシの使い方

アプリケーションの対応により、ホイールを指で回したり、傾きを変えたりしてエアブラシをコントロールすることができます。

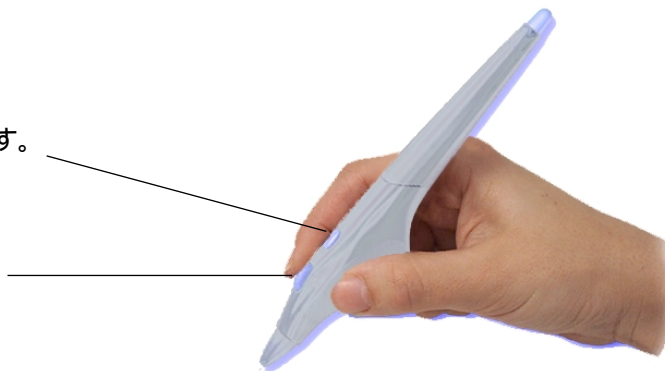
エアブラシのペン先やテールスイッチなどのペンスイッチは、ペンと同様に機能します。 [ポインティング](#)、[クリック](#)、[ダブルクリック](#)、[消しゴムを使う](#)、[筆圧を使う](#)

## エアブラシの持ち方

エアブラシは親指と中指で持ってください。ホイールが、人差し指で回しやすい位置に来るように持ってください。

サイドスイッチの標準設定は右クリックです。

ホイールを手前に回すと、インクが強く出る情報がアプリケーションに伝わります。ホイールの感度は設定ができます。 [エアブラシのホイール](#)



**重要：**エアブラシを手から離すとき、タブレットの上に置きますと、マウスなど他の入力機器と競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。ペンスタンドをご利用ください。ペン先が押されたままの状態では放置しますと、筆圧感触が損なわれることがあります。保管時にはペン先に自重などがからないようご注意ください。

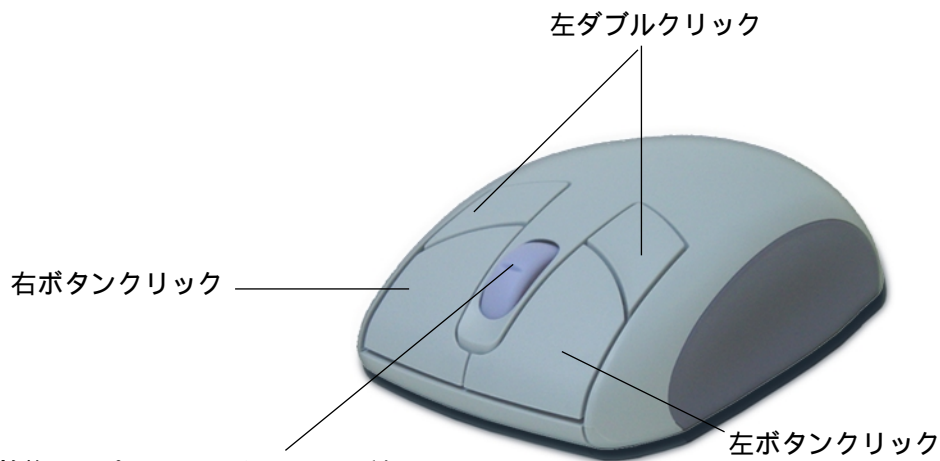
どんなアプリケーションがエアブラシに対応しているのかについて、ホームページで見ることができます。 [サポート窓口](#)のオンラインサポート

## 4D マウスの使い方

4D マウスは、スイッチ情報のほか、タブレット操作面上の X 座標と Y 座標、ホイールの回転量、タブレットに対する回転角の 4 つのパラメータをコンピュータに提供します。アプリケーションの対応により、2次元や3次元グラフィックに対して、柔軟で複合的な操作や加工を加えることができます。

標準設定では、4D マウスの座標検出モードはマウスモードです。

### 4D マウスのデバイスボタンの標準設定



前後に回すと、マイクロソフト社の IntelliMouse™ と同じように機能します。

押すと中ボタンクリック。

**重要：**入力デバイスをタブレットの上に置いたまま、マウスなど他の入力機器を使うと、競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。使用しないときはタブレットの外に置いてください。

ボタンの機能やホイールの設定は変更することができます [4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)、[4D マウスのホイール](#)



## 4D マウスのホイール

マウスの上に手を置いて、人差し指でホイールを前後に回して操作します。押すと、ボタンスイッチが働きます。

標準設定では、ホイールはマイクロソフト社の IntelliMouse™ のホイールとしてご使用になれます。

ホイールを動かすとスクロールし続け、離すとスクロールが止まります。



ホイールの機能や設定については ... [4D マウスの ホイールを設定する](#)

どんなアプリケーションがホイールに対応しているかについては、ホームページをご覧ください [サ](#)  
[ポート窓口のオンラインサポート](#)



目次  
索引



プロフェッショナルデバイスの使い方

4D マウスの使い方 73 ページ

## レンズカーソルの使い方

レンズカーソルは手元を見ながら操作面上の正確な位置を入力するのに使用します。レンズの十字の交点が座標読み取り位置になります。標準設定ではレンズカーソルの座標検出モードはマウスモードです。CAD や、図形、地図情報の入力、トレースなどのアプリケーションに便利です。

### レンズカーソルのデバイスボタンの標準設定



**重要：**入力デバイスをタブレットの上に置いたまま、マウスなど他の入力機器を使うと、競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。入力デバイスをタブレットの外に置いてください。

ボタンの機能を左手用の配列にするには、プルダウンメニューの [編集メニュー](#) から「一般設定」を変更します。

ボタンの機能は変えることができます [4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)



目次  
索引



プロフェッショナルデバイスの使い方

レンズカーソルの使い方 74 ページ

## 2つの入力デバイスを同時に使う

### デュアルデバイスを使う

intuos2 タブレットは、同時に2つの入力デバイスを使用すること（デュアルデバイス）ができます（A6 タブレットと2D マウスを除く）。アプリケーションの対応により、たとえば、2つのポインタを使って、あるオブジェクトの2つのハンドルを両手で同時に操作することにより、回転、変形、移動などが複合的にできるようになります（「接続」または「タブレットモード」のタブで「標準」を選択してください）。

どんなアプリケーションがデュアルデバイスに対応しているかについては、ホームページをご覧ください。[サポート窓口のオンラインサポート](#)

### デュアルデバイスを使わない場合

同時に2つのポインタを使用しないグラフィックアプリケーションでは、たとえば...

1. はじめに読み取り高さ内にペンを入れて画面のポインタをペンで操作します。
2. 次に4D マウスやレンズカーソルを操作面のどこかに置くと、カーソルをスイッチボックスとしてペンと同時に使用できます。（このときマウスやレンズカーソルではポインタを操作できません）。

詳しくは... [4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う](#)



目次  
索引



プロフェッショナルデバイスの使い方

2つの入力デバイスを同時に使う 75 ページ

# コントロールパネルの使い方（応用編）

「コントロールパネルの使い方（基礎編）」の内容をふまえて、さらに高度な設定をすることができます。エアブラシや4Dマウスや、レンズカーソルの設定方法について説明します。

[ペン先の筆圧感触を詳細に設定する](#)

[テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する](#)

[マッピングを詳細に設定する](#)

[プロフェッショナルデバイスを設定する](#)

[アプリケーションごとに設定を変える](#)

[入力デバイスごとに設定を変える](#)

[同じタイプの入力デバイスを複数使う](#)

[設定内容を他へコピーする](#)

[複数のタブレットを接続する](#)



目次  
索引

## ペン先の筆圧感触を詳細に設定する

「ペン先の感触」のタブの「詳細設定へ...」のボタンをクリックしてください。クリック荷重と筆圧曲線を独立して設定できます。（簡易設定では、スライダを動かすことによりクリック荷重と筆圧曲線は連動して変わります。）

**重要：**スライダを一度動かすと簡易設定が適用され、詳細設定の内容は消えてしまいます。

変更した設定を使用する前にテストしてください。

クリック荷重と筆圧曲線を  
手で設定します。

簡易設定を表示します。

詳細設定をするとチェック  
マークが付きます。



絵を描く要領で、この中で荷重を変えながら何回か試し描きしてください。荷重のかかり方をもとにして最大入力荷重が自動設定されます。

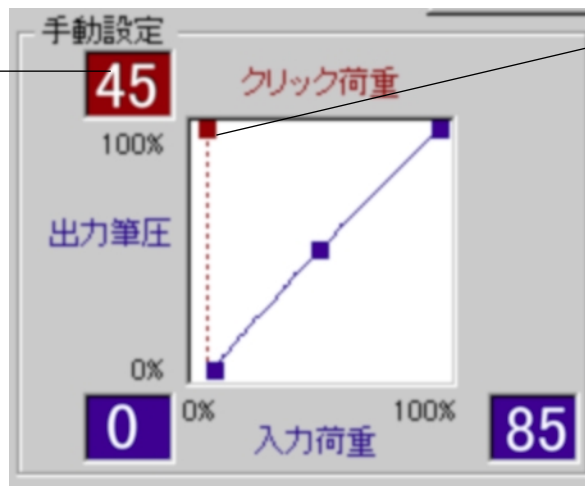
筆圧曲線がペンからの入力荷重とアプリケーションへの出力筆圧の関係を表します。ハンドルを動かして曲線を変えることができます。

## クリック荷重を調整する

ペン先でクリックするのに必要な荷重を設定します。

### クリック荷重

最大入力荷重の何%でクリックが起きるかを設定します。1から50%の間で入力するか、クリック荷重設定バーをドラッグします。



### クリック荷重設定バー

筆圧曲線との交点が、クリック荷重とクリック筆圧を表します。

一般に、グラフィックアプリケーションを使用するときは、クリック荷重と最小入力荷重は同じに設定するのがよいでしょう。



目次

索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)



ペン先の筆圧感触を詳細に設定する 78 ページ

## 筆圧曲線を調整する

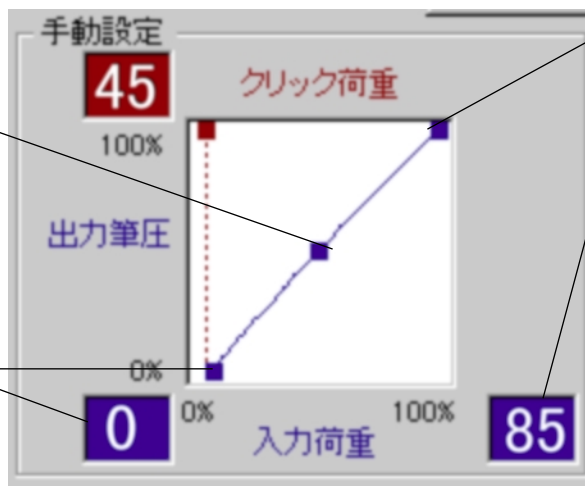
筆圧曲線の膨らみ方を変えることにより、ペン先の筆圧感触を変えることができます。たとえば、左上に膨らませるほどより敏感になります。

筆圧曲線の左端のハンドルを左右に動かすことによりアプリケーションに筆圧が出る最小の荷重を設定します。筆圧曲線の左端より左の荷重範囲では出力筆圧は0となります。

筆圧曲線の右端のハンドルを左右に動かすことによりアプリケーションに伝わる筆圧が最大になる最小の入力荷重を設定します。曲線より右の荷重範囲では出力筆圧は最大となり、これより強く押ししても出力筆圧は増えません。たとえば、筆圧感触を「柔らかい」にしている、力を入れなくても最も太く描けるようにしたいときは、最大入力荷重を小さくします。最大入力荷重の標準設定は 100% です。

ハンドルを上下左右に動かして筆圧曲線の膨らみ方を変えることにより、筆圧感触を変えます。

ハンドルを左右にドラッグするか、数字を入力して最小入力荷重を設定します（0～80%）。



ハンドルを左右にドラッグするか、数字を入力して最大入力荷重を設定します（20～100%）。

最大入力荷重を自動設定します。「開始」ボタンを押して、荷重を変えながら何回か試し描きしてください。最大入力荷重を反映しながらハンドルが動き、数字が変わります。やり直すときは、もう一度「開始」ボタンを押してください。



絵を描く要領で、この中で荷重を変えながら何回か試し描きしてください。荷重のかかり方をもとにして最大入力荷重が自動的に設定されます。

自動設定を始める前に押してください。最大入力荷重の設定が解除されます。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（応用編）



ペン先の筆圧感触を詳細に設定する 80 ページ



## テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する

「テールスイッチの感触」のタブの「詳細設定へ ...」のボタンをクリックしてください。クリック荷重と筆圧曲線を独立して設定できます。

設定方法は[ペン先の筆圧感触を詳細に設定する](#)のと同じです。

**重要**：スライダを一度動かすと簡易設定が適用され、詳細設定の内容は消えてしまいます。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（応用編）

テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する 81 ページ

## マッピングを詳細に設定する

詳細マッピングでは、多くのマッピングを設定できます。操作面をいくつかの操作エリアに分けて、それぞれを独立して画面に割り当てることができます。また、1つ1つのマッピングも、細かく正確に設定できます。「マッピング」のタブをある程度使い慣れてから、詳細マッピングをお試しになることをおすすめします。

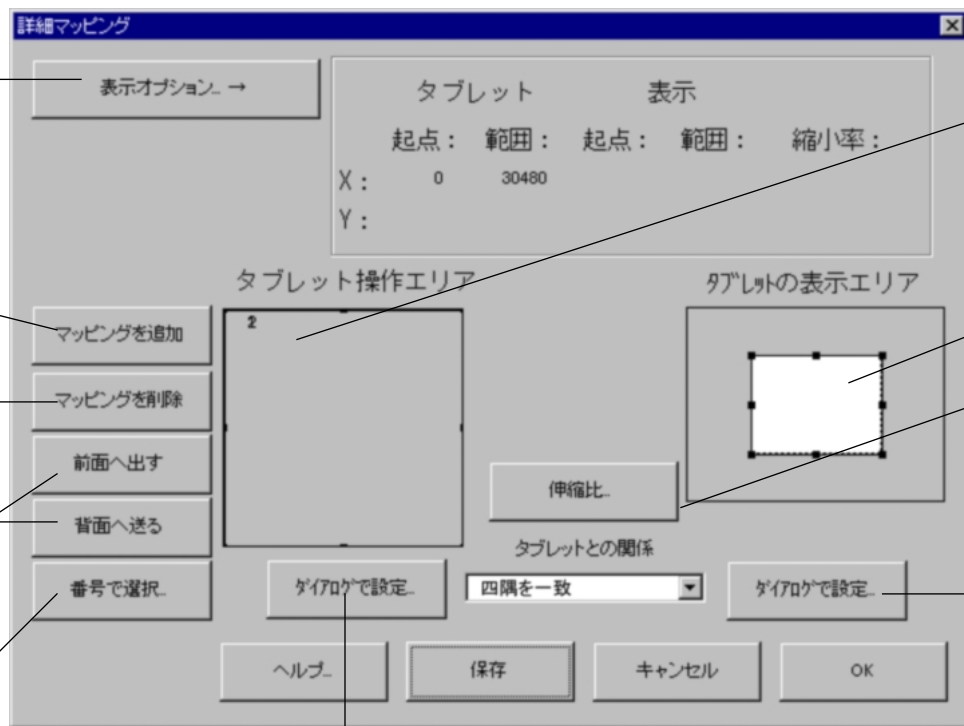
右の座標の表示オプションを変更します。(単位、起点、範囲の定義)

新しいマッピングを追加します。

選択されているマッピングを削除します。(削除するマッピングを選択してください)

選択したマッピングを前に出したり背面に送ったりします。

マッピングを番号で選択します。(表示されている長方形をクリックしても選択できます)



選択されているマッピングの操作エリアを表します。

選択されているマッピングの表示エリアを表します。

操作エリアから表示エリアへの伸縮比を設定します。(「タブレットとの関係」が「等倍」以外の場合)

「画面の一部」のダイアログボックスを開いて、表示エリアを設定します。

「操作エリアの一部」のダイアログボックスを開いて、操作エリアを設定します。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)

マッピングを詳細に設定する 82 ページ

## 設定手順の例

### 1. 座標の表示オプションを設定

「表示オプション ...」のボタンをクリックしてダイアログボックスを開き、プルダウンメニューから選択します。

### 2. 設定する操作エリアを選択

該当するマッピングの操作エリアをクリックするか、「番号で選択 ...」を開いて選択します。

### 3. 操作エリアを設定

簡単に設定するには、ウィンドウ内に表示されている、操作エリアを表す長方形の頂点のハンドルをドラッグして形や大きさを設定し、次に、長方形をドラッグして場所を設定します。（ドラッグできるときは、ポインタが手の形に変わります。）

正確に設定するには、「ダイアログで設定」のボタンから「[操作面的一部分](#)」のダイアログボックスを開いてください。

### 4. 「タブレットとの関係」を設定

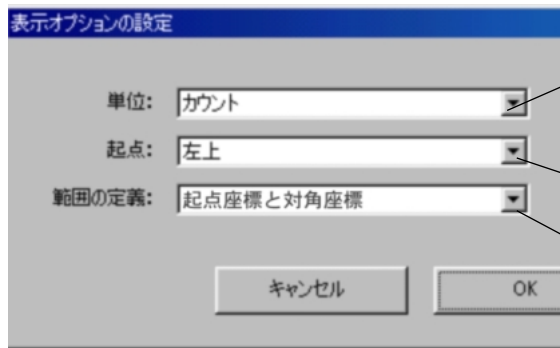
設定方法は「マッピング」タブの「タブレットとの関係」と同様です。

「等倍」に設定すると、操作エリアの1センチがアプリケーションでも1センチとして表示されます。（モニタの解像度を72ドット/インチで計算）

「伸縮比」のダイアログボックスは、「タブレットとの関係」が、「縦横比を保持」か「四隅を一致」のとき開くことができ、正確に設定できます。

操作エリアから表示エリアへの縮小率を入力します（拡大される場合は1より小さくなります）。

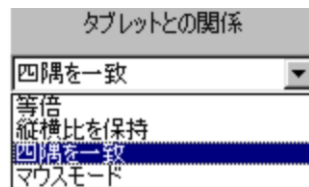
「四隅を一致」のときは、縦（Y）と横（X）の縮小率をそれぞれ設定できます。



インチ、ミリメートル、ポイント、カウントから選択します。（カウントはタブレットの解像度の線1本か、画面の解像度の1ピクセルです。）

エリアの起点を左上にするか、左下にするかを選択します。

エリアを起点座標と対角座標で表示するか、起点座標と辺の長さで表示するかを選択します。



目次

索引



コントロールパネルの使い方（応用編）



マッピングを詳細に設定する 83 ページ

## 5. 表示エリアを設定

簡単に設定するには、ウィンドウ内に表示されている、表示エリアを表す長方形の頂点のハンドルをドラッグして形や大きさを設定し、次に、長方形をドラッグして場所を設定します。(ドラッグできるときは、ポインタが手の形に変わります。)

正確に設定するには、「ダイアログで設定」のボタンから「[画面の一部](#)」のダイアログボックスを開いてください。

## 6. マッピングを追加

「マッピングを追加」のボタンをクリックすると、新しいマッピングが1つ追加されます。

複数のマッピングが完全に重なった場合は、「番号で選択 ...」のボタンをクリックしてダイアログボックスを開き、番号を入力して選択できます。

「前面へ出す ...」のボタンをクリックすると選択されたマッピングが最前面に、「背面に送る ...」をクリックすると最背面に送られます。

7. 最後に「OK」ボタンをクリックして、詳細マッピングを終了します。

参考：マッピングのタブには、詳細マッピングで設定した1番のマッピングが現れます。[設定内容を他へコピーする](#)ことにより、詳細マッピングを他の入力デバイスやアプリケーションでも活用できます。

選択中の入力デバイスに属する詳細マッピングを一度にすべて削除するには、マッピングのタブの「標準設定へ ...」のボタンをクリックします。このとき、マッピングは標準設定になります。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)



マッピングを詳細に設定する 84 ページ

# プロフェッショナルデバイスを設定する

## エアブラシのホイール

「デバイスボタン」のタブを開くとエアブラシのホイールの感度を設定できます。

デバイスボタン(B)

テールスイッチの機能

消しゴム

スイッチの機能

右ボタンクリック

ホイールのレンジ

最大

中間

最小

左ボタンクリック

ホイールを大きく動かしてエアブラシの効果を少しずつ変化させます。細かく正確にコントロールするのに適します。

最大と最小の間です。

ホイールを少し動かすだけでエアブラシの効果を大きく変化させることができます。速く大胆にコントロールするのに適します。

ホイールは、手前に回すと効果が強くなります。たとえば、ホイールを使ってインクの流量をコントロールするアプリケーションでは、ホイールを手前に回すとスプレーは濃く出ます。

どんなアプリケーションが筆圧に対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

[サポート窓口のオンラインサポート](#)



目次

索引



コントロールパネルの使い方(応用編)

プロフェッショナルデバイスを設定する 85 ページ

## 4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する

「デバイスボタン」のタブを開いて、4D マウスやレンズカーソルのボタンを設定します。



ボタンを押したときに働く機能を選択します。

**参考：**ボタン機能の左右の配列を切り替えるには「[編集メニュー](#)」のプルダウンメニューから「一般設定」を開いてください。

チェックマークが付いていると、4D マウスやレンズカーソルを、ボタンスイッチのボックスとしてのみ使用します。 [4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う](#)

4D マウスやレンズカーソルのボタンスイッチの機能は、ペンスイッチと同じように設定することができます。 [ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能](#)

ボタンスイッチは、キーボードと同じように組み合わせて同時に押すことができます。たとえば、「Ctrl」キーに設定されたボタンと「Z」キーに設定されたボタンを同時に押すと、キーボードで「Ctrl-Z」を押すのと同じになります。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)



プロフェッショナルデバイスを設定する 86 ページ

## 4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う

A5 タブレット以上で、ペンの他に、4D マウスかレンズカーソルをお使いの場合、これらをボタンスイッチのボックスとしてのみ使用することができます（ポインタ移動には使用できません）。

1. 4D マウスやレンズカーソルの「[デバイスボタン](#)」のタブの中で「**ボタンスイッチのみ使用**」を選択してください。
2. よく使うショートカットキーなどをデバイスボタンに設定しておく、キーボードに手をのばさずタブレットを使うことができます。
3. カーソルを操作面のどこかに置いてください。押されたボタンの機能がアプリケーションに伝わります。絵を描いたり、ポインタを操作するには、もう一つの入力デバイスを使用します。

「ボタンスイッチのみ」の場合の各ボタンの機能は、カーソルでポインタを操作するときと同じです  
[4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（応用編）



プロフェッショナルデバイスを設定する 87 ページ

## 4D マウスの ホイールを設定する

「ホイール」のタブを選択して、4D マウスのホイールの機能と感度を設定します。

マイクロソフト社の IntelliMouse™  
の機能

ホイールの状態をアプリケーションに直接伝えます。4D マウスのホイールに対応したアプリケーションが必要です。

ホイールを動かすと、ここに設定したキーストロークが繰り返しアプリケーションに送られます。キーストロークを設定するには「設定」ボタンを押します。

ペン先や消しゴムの筆圧とは別の筆圧として使用します。ホイールを前に押したり後ろに引いたりすると、筆圧が増えます。

ホイールを回しても何もしません。

選択すると、ホイール機能の前方と後方が入れ替わります。



ホイールの感度を設定します。「最大」を選択すると、ホイールの動きに対して結果が大きく反応し、速く大胆にコントロールするのに適します。

どんなアプリケーションが4D マウスのホイールに対応しているかについて、ホームページをご覧ください。 [サポート窓口のオンラインサポート](#)

お使いのアプリケーションの説明書を参照して、ホイールの機能を活用ください。



## アプリケーションごとに設定を変える

各アプリケーションの特徴や用途に合わせて、タブレットや入力デバイスに対してアプリケーションごとに異なる設定をしておく、使用するアプリケーションに応じて設定が自動的に切り替わります。

### ステップ 1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録

コントロールパネルのアプリケーションリストに特定のアプリケーションを登録します。

### ステップ 2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定

アプリケーションリストから、設定したいアプリケーションを選択し、そのアプリケーションの特徴や用途に合わせて入力デバイスを設定します。

すでに登録してあるアプリケーション用の設定内容を、新しく登録したアプリケーション用の設定内容としてコピーすることもできます。

### ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

使用しているアプリケーションを切り替えると、タブレットや入力デバイスの設定が自動的に切り替わります。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)

アプリケーションごとに設定を変える 89 ページ

## ステップ 1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録

### アプリケーションリスト

この中にアプリケーションを登録すると、アプリケーション特有の設定ができます。

アプリケーションリストに特定のアプリケーションが登録されると、「すべて」という名前のアイコンが「その他のすべて」に変わります。



## アプリケーションリストにアプリケーションを登録する手順

1. 「アプリケーションを登録 ...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「アプリケーションを登録 ...」を選択してください。以下のようなダイアログボックスが現れます。

現在開かれていて、まだアプリケーションリストに登録されていないアプリケーションが表示されます。登録したいアプリケーションを選択してください。

登録したいアプリケーションが開かれていない場合は、ここをクリックするとダイアログボックスが表示されます。登録したいアプリケーションのファイルなどを見つけて開いてください。開くと、上のボックスに現れます。

複数のタブレットを接続している場合は、登録するアプリケーションが所属するタブレットを選択してください。



アプリケーションが選択されるとここに表示されます。

選択できたらクリックします。

1つの入力デバイスだけをお使いの場合、以上で登録は完了です。アプリケーションが登録されるとそのアイコンがリストの中に現れ、「すべて」のアイコンが「その他すべて」に変わります。まず、特定のアプリケーションを1つ登録していろいろな設定を試してください。



2. 複数の入力デバイスをお使いの場合、「アプリケーションに入力デバイスを追加」というダイアログボックスが現れます。登録したアプリケーションの入力デバイスリストに複数の入力デバイスを含める場合は、選択して「OK」をクリックしてください。



上記アプリケーションの入力デバイスリストに入る入力デバイスを選択します。選択しないものは、「その他」のアプリケーションの入力デバイスリストに残ります。

アプリケーションが登録されると、そのアイコンがリストの中に現れ、「すべて」というアイコン名が「その他すべて」に変わります。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方(応用編)



アプリケーションごとに設定を変える 92 ページ

## ステップ2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定

アプリケーションリストの中でアプリケーションを選択してから、アプリケーションの用途や特徴に合わせてタブを設定してください。その設定内容は選択したアプリケーションに専用のもとなります。（「その他すべて」を選択してからタブを設定すると、その設定内容は「その他すべて」に含まれるアプリケーションに対して共通のものとなります。）

**複数の入力デバイスをお使いの場合**、アプリケーションリストの中で特定のアプリケーションを選択すると、入力デバイスリストにはそのアプリケーションに属して設定できる入力デバイスだけが現れます。それぞれの入力デバイスを選択してタブを設定してください。（アプリケーションリストの中で「その他すべて」を選択すると、入力デバイスリストにはコントロールパネルに登録されているすべての入力デバイスが現れます。）

### 特定のアプリケーションの設定を削除する

アプリケーションを使わなくなったら次の手順で登録を削除できます。

1. 「削除」のプルダウンメニューから「アプリケーションを削除 ...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。
2. アプリケーションメニューから削除したいアプリケーションを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

## ステップ3... 設定が自動的に切り替わります

ステップ2が終わったら準備は完了です。使用するアプリケーションが変わると、タブレットや入力デバイスの設定が自動的に切り替わります。

複数の入力デバイスが登録され入力デバイスごとにタブが設定されていると、入力デバイスを持ち替えたときも設定が自動的に切り替わります。... [入力デバイスごとに設定を変える](#)

## 入力デバイスごとに設定を変える

各入力デバイスの特徴や用途に合わせて、入力デバイスごとに異なるタブの設定をしておくと、入力デバイスを持ち替えるだけでタブの設定が自動的に切り替わります。

### ステップ 1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録

コントロールパネルの入力デバイスリストに入力デバイスを登録します。

### ステップ 2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定

入力デバイスリストから、設定したい入力デバイスを選択し、その入力デバイスの用途や特徴に合わせてタブを設定します。

すでに登録してある入力デバイス用のタブの設定内容を、新しく登録した入力デバイス用の設定内容としてコピーすることもできます。

### ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

使用している入力デバイスを持ち替えると、タブの設定が自動的に切り替わります。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方（応用編）

入力デバイスごとに設定を変える 94 ページ

## ステップ 1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録

アプリケーションリスト

入力デバイスリスト  
(アプリケーションリストに特定のアプリケーションが登録されていて、選択すると、それに属する入力デバイスが現れます。)



入力デバイスリストの中で入力デバイスを選択すると、それに属するタブの設定が変わります。

横に長い三角形の頂点は、設定内容が所属するアプリケーションや入力デバイスを示します。

タブレットをインストールしてから最初に操作面で使った入力デバイスは、自動的に入力デバイスリストに現れ、標準設定が適用されます。コントロールパネルを開いて設定することができます。「保存」ボタンか「OK」ボタンを押すと、入力デバイスが登録されタブの設定が保存されます。

### まだコントロールパネルに登録されていない入力デバイスを登録する

コントロールパネルを開かずに、次の新しい入力デバイスを操作面で使用すると、「新しい入力デバイス」というメッセージボックスが現れ、この入力デバイスをコントロールパネルの入力デバイスリストに登録するかどうか聞いてきます。その入力デバイスを今後もお使いになる場合は、コントロールパネルを開いて「OK」か「保存」ボタンを押してください。入力デバイスが登録されます。登録せずにコンピュータを再起動してその入力デバイスをまた使うと、同じメッセージボックスが開きます。コントロールパネルを開いているとき新しい入力デバイスを操作面で使用すると、自動的に入力デバイスリストに現れ、標準設定が適用されます。



目次  
索引



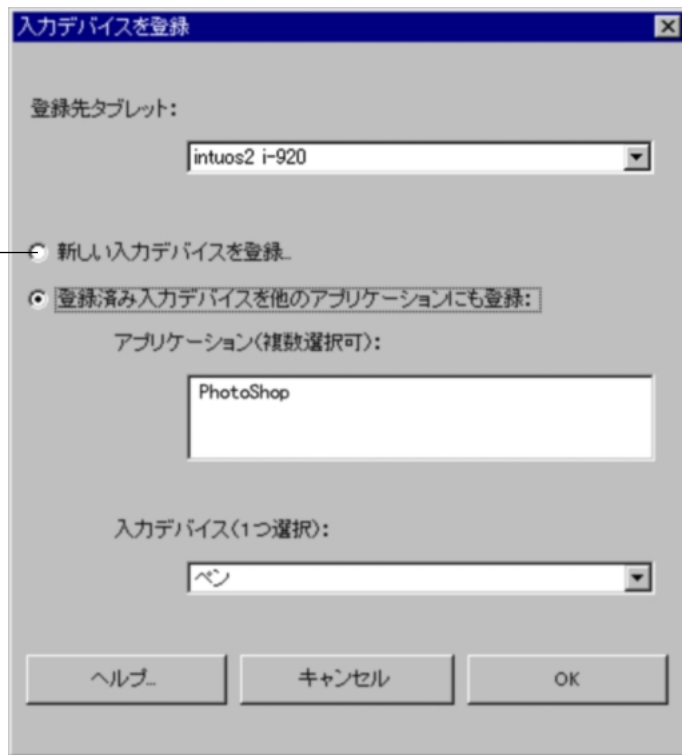
コントロールパネルの使い方 (応用編)



入力デバイスごとに設定を変える 95 ページ

コントロールパネルを開いてから新しい入力デバイスをマウスなどを使って登録する場合は、「入力デバイスを登録 ...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「入力デバイスを登録 ...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。ダイアログボックスの中で「新しい入力デバイスを登録 ...」を選択して「OK」をクリックし、画面の指示に従ってください。その入力デバイスを今後もお使いになる場合は、コントロールパネルの「OK」か「保存」ボタンを押してください。

こちらをクリックする。





## コントロールパネルに登録済みの入力デバイスを特定のアプリケーションにも登録する

すでに登録されている入力デバイスを、特定のアプリケーションの入力デバイスリストに登録するには、「入力デバイスを登録...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「入力デバイスを登録...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。

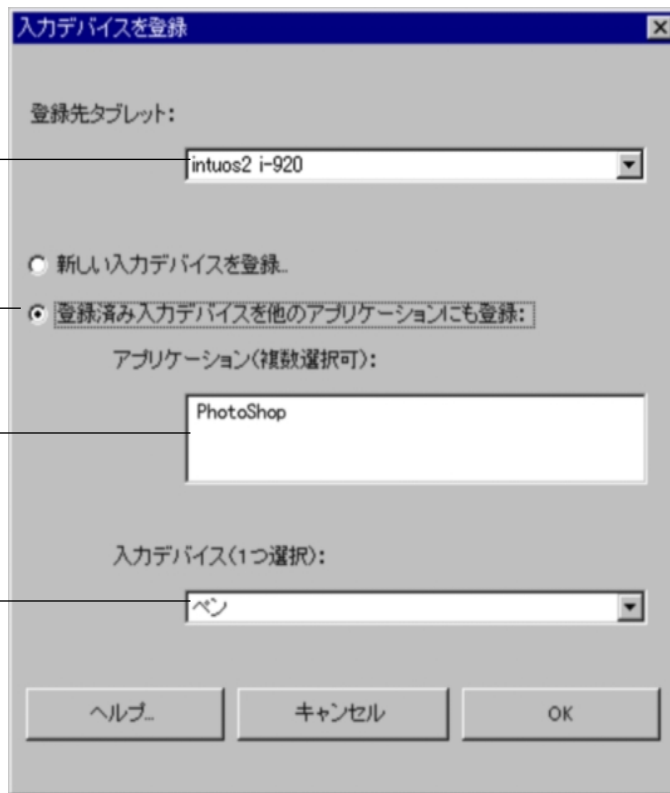
複数のタブレットをご使用の場合は、登録先のアプリケーションが所属するタブレットを選択してください。

登録先のアプリケーションを指定する場合はこれを選択します。

登録先となるアプリケーションを指定します。アプリケーションリストに登録されているものが表示されます。

登録する入力デバイスを指定してください。登録先アプリケーションの入力デバイスリストにまだないものが表示されず。

特定のアプリケーションに入力デバイスリストを作るには... [アプリケーションごとに設定を変える](#)



「OK」をクリックしてください。入力デバイスリストに入力デバイスが登録されます。



目次

索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)



入力デバイスごとに設定を変える 97 ページ

## ステップ 2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定

「入力デバイスリスト」の中で入力デバイスを選択すると、選択した入力デバイスに属するタブが表示されます。それぞれの入力デバイスを、用途や特徴に合わせて設定してください。タブの設定内容は、選択されている入力デバイスに対してのみ適用されます。( [共通](#)のタブを除きます )

### 入力デバイスの設定を削除する

登録された入力デバイスは次の手順で設定を削除できます。

1. 「削除」のプルダウンメニューから「入力デバイスを削除 ...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。
2. 削除する入力デバイスを選択します。完全に削除する場合は「入力デバイスを完全に削除」を選択します。部分的に削除する場合は、「特定の ...」を選択し、どのタブレットから削除するか (複数タブレット使用時) と、どのアプリケーションから削除するかを指定します。
3. 「OK」ボタンをクリックします。

## ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

ステップ 2 が終わったら準備は完了です。入力デバイスを持ち替えると、タブの設定が自動的に切り替わります。

特定のアプリケーションごとにタブが設定されていると、アプリケーションを切り替えたときもタブの設定が自動的に変わります ... [アプリケーションごとに設定を変える](#)

## 同じタイプの入力デバイスを複数使う

タブレットは同じタイプの入力デバイスを何本でも識別します。入力デバイスひとつひとつに書き込まれている **デバイス ID** をタブレットが識別しますので、ある入力デバイスのためにコントロールパネルで設定した内容は、その入力デバイスに対してのみ働きます。

入力デバイスリストに同じタイプの入力デバイスが登録されると、同じ名前のあとに番号が自動的に付きます。番号付きの名前は変更することができます。「編集」のプルダウンメニューから「入力デバイスを別名に ...」を選んでダイアログボックスを開いてください。

同じタイプの入力デバイスを同じ設定で使いたいときは、タブごとに設定をコピーすることができます ... 次のページ。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)

同じタイプの入力デバイスを複数使う 99 ページ

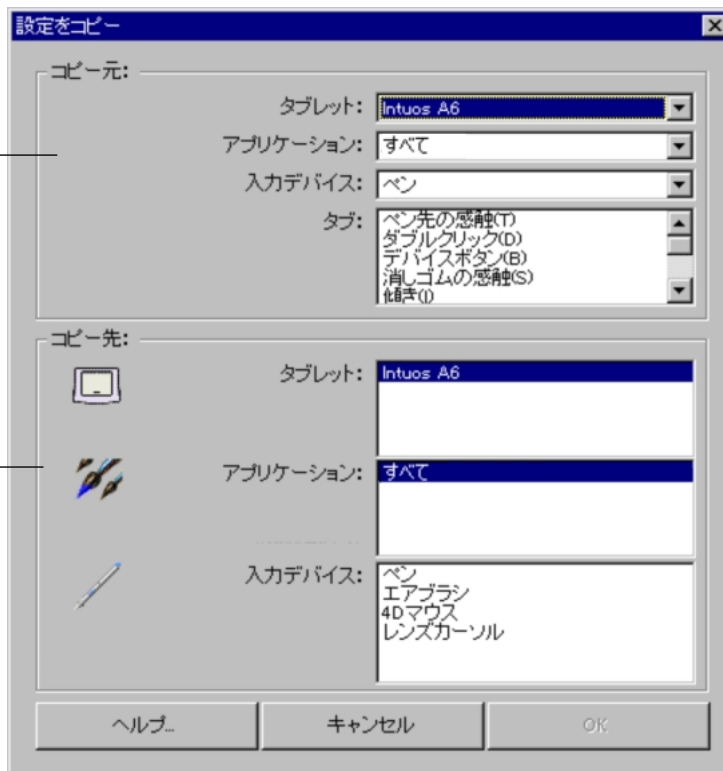
## 設定内容を他へコピーする

ある入力デバイスやアプリケーションの設定を、他の入力デバイスやアプリケーションへコピーするには、「設定をコピー ...」のボタンをクリックするか、「編集」のプルダウンメニューから「設定をコピー ...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。

異なるタイプの入力デバイスへ設定をコピーする場合は、[共通](#)のタブの設定内容をコピーできます。

コピー元とコピーする設定内容を指定します。

コピーした設定内容のコピー先を指定します。



目次  
索引



コントロールパネルの使い方 (応用編)

設定内容を他へコピーする 100 ページ

## 複数のタブレットを接続する

タブレットを追加するには、まず、タブレットをコンピュータに接続します。

シリアルタブレットの場合

Plug & Play でインストールできる場合は、システムがシリアルポートを探します。新しいタブレットが見つかりるとシリアルポートが自動的に初期化されます。

Plug & Play でインストールしない場合は、「追加」のプルダウンメニューから「タブレットを追加...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。「シリアルを追加」のボタンをクリックして、画面の指示に従ってください。

USB タブレットの場合

システムが USB ポートを探します。新しいタブレットが見つかりると USB ポートが自動的に初期化されます。場合によっては再起動が必要です。

2 台目以降のタブレットをコンピュータに接続してからコントロールパネルを開くと、アプリケーションリストの上にタブレットリストが現れます。このときタブレットリストには、接続されているタブレットのアイコンがそれぞれ表示され、コントロールパネルを開くのに使用したタブレットが選択されています。他のタブレットのアイコンを選択すると、そのタブレットに対してアプリケーションや入力デバイスの設定ができます。

### タブレットリスト

タブレットを選択し、アプリケーションや入力デバイスについてタブを設定します。



# トラブルシューティング

タブレットが思うように動かない場合でも、簡単に解決できることがあります。

1. この章のトラブルシューティングの表を参照してください。該当する症例がありましたら、表の右側の解決のポイントを参考にして解決を試みてください。
2. CD-ROM 中の Readme ファイルの内容が参考になることもあります。
3. [オンラインサポート](#)の窓口から Q&A 集を見ることが出来ます。

これらをお読みいただいても解決しそうなないトラブルがありましたら、FAX かお電話で[サポート窓口](#)までおたずねください。

[タブレットを操作できない](#)

[デバイスボタン（ペンスイッチ）のトラブル](#)

[画面表示のトラブル](#)

[その他のトラブル](#)

[タブレットと入力デバイスを診断する](#)

# タブレットを操作できない

タブレットのステータスランプが点灯しない。

## シリアルタブレットの場合

必ずタブレットに付属している電源アダプタをお使いください。電源アダプタや、電源アダプタのジャックの接続を確認してください。(タブレットケーブルのコネクタをコンピュータから抜き差しするときは、コンピュータの電源を切ってください。) **クイックスタートガイド参照**

A4 正方形タブレット以上の場合、タブレットの電源スイッチが入っていることを確認してください。それでもステータスランプが点灯しない場合は、ハードウェアの故障が考えられます。 [サポート窓口](#)

## USB タブレットの場合

USB コネクタの接続を確認してください。

コンピュータの BIOS 設定で USB ポートが有効になっていることを確認してください。BIOS 設定については、コンピュータの説明書を参照してください。

CD-ROM に入っている、「USB Ready utility」を起動して、USB が使用できる状態であることを確認してください。使用できない状態の場合は、USB ポートを正しく設定し、必要な USB システムリソースをインストールしてください。

USB ポートが有効になっている場合は、コントロールパネルフォルダの「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」のタブを開いて、表示されるリストの中に「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」があることを確認してください。もしなければ、お使いのコンピュータを調整する必要があります。コンピュータメーカーにご相談ください。

デバイスマネージャの、「不明なデバイス」の中に XD-xxxx-U がある場合は、このリストから XD-xxxx-U を選択し削除ボタンを押して、すべての設定から削除してください。次に、更新ボタンを押してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが出てきましたら、それに従ってタブレットドライバを再インストールしてください。

ステータスランプが点灯しているが、USB タブレットが使えない。

シリアルタブレットが入力デバイスに反応しない。

タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。CD-ROM から「Setup」を起動して再インストールしてください。

コントロールパネルの「接続」タブの「タブレットドライバ ON」のチェックマークを一度はずしてから、付けてみてください。[シリアルタブレットの接続を確認する](#) 通信ソフトや FAX ソフトを起動するとタブレットが操作できなくなることがあります。

それでも解決しない場合は、コンピュータのシリアルポートが正しく設定されていないことが考えられます。

コンピュータにモデムが内蔵されている場合、外部のシリアルコネクタが 2 つあれば、もう 1 つのコネクタにタブレットを接続してみてください。シリアルポートを 1 つしか使用できなかったり、割り込みが競合している場合があります。

Note Book でご使用の場合、外部シリアルポートと内蔵モデムや赤外線通信機能を同時に使用できない機種があります。コンピュータの説明書をお読みになり、タブレットを接続しているシリアルポートが現在使用できるかどうか確認してください。

シリアル MIDI 音源やデジタルカメラなどを、タブレットと同じシリアルポートでご使用の場合、ドライバが競合してどちらかが使用できなくなります。タブレット以外のドライバを削除してください。ドライバの機能を一時的に無効にして、切り替え機などを使用してタブレットと共存できることもありますが、動作は保証できません。

変換アダプタを使ってパラレル（プリンタ、LPT）ポートに接続していませんか。タブレットはパラレルポートには接続できません。

コンピュータを買い換えたり、新しいソフトウェアを使ったらタブレットが使えなくなった。

最新版のタブレットドライバをインストールすると、解決することがあります。[オンラインサポート](#)の窓口からダウンロードできます。



ペンが操作面に入ると、ポインタが画面の左上に飛ぶ。あるいは、コントロールパネルに「Un-able to implement function」というエラーメッセージが現れる。

他社製タブレットをお使いになったことがあり、そのタブレットドライバがまだシステムに残っていたらはずしてください。はずし方については、そのタブレットの説明書を参照してください。

マウスを使うとポインタが引き戻される。

入力デバイスを手から離すときはタブレットの上に置かないようにしてください。マウスなど他の入力機器と競合が起きてポインタが操作できなくなることがあります。ペンにはペスタンドをご利用ください。

trl、Alt、Del キーを同時に押したら、ペンでポインタを動かせなくなる。

「プログラムの強制終了」のダイアログボックスが表示されているあいだは、タブレットはお使いになれませんのでマウスを使用してください。ダイアログボックスを閉じるとまたタブレットが使えます。

Windows 95 や 98、Me でフルスクリーンモードの DOS を使用中、ペンでポインタを動かさない。

DOS マウスを使用中にはペンはお使いになれません。マウスで操作してください。

# デバイスボタン（ペンスイッチ）のトラブル

ペン先でダブルクリックができないことがある。	できるだけ同じ場所を速くダブルクリックしてください。サイドスイッチやセカンドサイドスイッチを1回押してダブルクリックすることもできます。 <a href="#">クリック、ダブルクリック</a> ダブルクリック距離を増やすか、ダブルクリックの速度を遅くしてください。 <a href="#">ペン先のダブルクリックアシストを調整する</a> ペン先の筆圧感触を柔らかくしてください。 <a href="#">ペン先の筆圧感触を調整する</a>
ペン先が少し触れただけでもクリックしてしまう。	コントロールパネルの「ペン先の感触」のタブを開いて、「ペン先の筆圧感触」のスライダを「硬い」の方へ動かすか、「詳細設定」の「クリック荷重」を増やしてください。
テールスイッチが少し触れただけでもクリックしてしまう。	コントロールパネルの「テールスイッチの感触」のタブを開いて、「テールスイッチの筆圧感触」のスライダを「硬い」の方へ動かすか、「詳細設定」のクリック荷重を増やしてください。
かなり力を入れないとクリックや描画ができない。	コントロールパネルの「ペン先の感触」のタブを開いて、「ペン先の筆圧感触」のスライダを「柔らかい」の方へ動かすか、「詳細設定」のクリック荷重を減らしてください。
ペンが触れる前にクリックしてしまう。	コントロールパネルの「ペン先の感触」のタブを開いて、「ペン先の筆圧感触」のスライダを「硬い」の方へ動かすか、「詳細設定」の「クリック荷重」を増やしてください。それでもステータスランプが緑色に変わる場合はハードウェアの故障が考えられます。
4D マウスなどのデバイスボタンは働くが、ポインタが動かない。	コントロールパネルの「デバイスボタン」のタブを開いて、「ボタンスイッチのみ使用」が選択されていないことを確認してください。
ペン先スイッチが使えない。	スイッチを押したとき、ステータスランプが緑色にかわることを確認してください。変わらなければハードウェアの故障が考えられます。 <a href="#">タブレットと入力デバイスを診断する</a> 「ペン先の機能」が「左ボタンクリック」に設定されていることを確認してください。 <a href="#">デバイスボタン</a>



目次  
索引



トラブルシューティング

デバイスボタン（ペンスイッチ）のトラブル 106 ページ

サイドスイッチが効かない。

設定されている機能によっては、ペン先を浮かせないと働かないことがあります。

サイドスイッチの設定が正しいことを確認してください。 [デバイスボタン](#)

編集メニューから「一般設定」を開いて、「プロフェッショナルサイドスイッチモード」が選択されていないことを確認してください。

サイドスイッチを押したとき、ステータスランプが緑色にかわることを確認してください。変わらなければハードウェアの故障が考えられます。

[タブレットと入力デバイスを診断する](#)



目次  
索引



トラブルシューティング



デバイスボタン(ペンスイッチ)のトラブル 107 ページ

## 画面表示のトラブル

画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。

モニタ（ディスプレイ）の設定によっては、タブレットが電磁波の影響を受けることがあります。

タブレットをモニタから 30cm ほど離してみてください。

リフレッシュレートや解像度を変えてみてください。

「タブレットモード」（シリアルタブレットの場合は「接続」）のタブで、「モード」を「シングルデバイス」に変えてみてください。

ポインタを思い通りの場所に動かせない。

線を描こうとすると、ポインタの位置と描画位置がずれてしまう、または、まったく描画されない。

コントロールパネルの「マッピング」のタブを開いて、タブレットの表示エリアを「画面全体（すべて）」に設定してください。

タブの「標準設定へ」をクリックしてください。

それでも直らないときは、「Windows」のフォルダの中の「TABLET.DAT」を削除してから、システムを再起動してください。タブレットドライバが読み込まれるとき、これらの設定ファイルが標準設定で新たに作られます。

タブレットで描いた絵が画面では縦横比が異なって表示される。

「マッピング」のタブで「タブレットとの関係」の設定を「縦横比を保持」にしてください。 [タブレットから画面へのマッピングを設定する](#)

線の引き始めに、ポインタが動かないことがある。

コントロールパネルの「ダブルクリック」のタブを開いて、「ダブルクリックアシスト」のチェックマークをはずしてください。

カーソルボタンは働くが、ポインタが動かない。

コントロールパネルの「デバイスボタン」のタブを開いて、「ボタンスイッチのみ使用」が選択されていないことを確認してください。 [4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)

Windows98 や Me のマルチディスプレイで、マッピングされていない Virtual Desktop の部分へ出たあと、ポインタの位置が正しく表示されない。

入力デバイスを読み取り高さから一旦出して、マッピングされている部分に入れてください。

各モニタのサイズが違っていたり、長方形に並んでいない場合は、マッピングされていない Virtual Desktop の部分にポインタが一度入ると位置がずれてしまいます。

## その他のトラブル

使用できるシリアルポートがない。	他の周辺機器をシリアルポートからはずし、そのポートを使用するデバイスドライバをはずしてください。あるいは、シリアルポートを増設してください。
入力デバイスの設定を変えたはずなのに変わっていない。	設定を変えたタブが、お使いになっているアプリケーションや入力デバイスに属しているものであることを確認してください。 <a href="#">複数のタブレットを接続する</a> 、 <a href="#">アプリケーションリスト</a> 、 <a href="#">入力デバイスリスト</a>
Windows NT 4.0 で、アプリケーションごとの設定をしようとすると、正しくできない。クラッシュして青い画面になる。	Service Pack 3以降にアップデートしてください。



目次  
索引



トラブルシューティング

その他のトラブル 109 ページ

## タブレットと入力デバイスを診断する

コントロールパネルの「ヘルプ」のプルダウンメニューから「診断」を選択すると、「診断」のダイアログボックスが現れます。ドライバのバージョンやタブレットの種類、座標、スイッチ情報、筆圧、傾きなどの数値が表示され、タブレットや入力デバイスが正しく動作しているかどうかを確認することができます。

### ペンやエアブラシの診断

1. 「入力デバイス情報」のウィンドウを見ながら、ペンを読み取り高さ以内に入れてください。ペンの情報が表示されます。
2. ペン先やテールスイッチを操作面上で移動させると、「X 座標」と「Y 座標」の座標値が変わります。
3. ペンスイッチ（ペン先、サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチ、テールスイッチ）が押されると、ステータスランプが橙色から緑色に変わります。このとき、表示される数値は以下のように変化します。

- ・ ペン先やテールスイッチを読み取り高さに入れて次第に強く押すと、「筆圧」の値はおよそ 0 % から 100% まで上がります。
- ・ ペンスイッチを 1 つずつ順に押していくと、以下のように「スイッチ」の値が変わります。

ペン	ペン先=1、サイドスイッチ=2 セカンドサイドスイッチ =3 テールスイッチ = 1
エアブラシ	ペン先=1、サイドスイッチ=2 テールスイッチ =1

- ・ エアブラシの場合、ホイールをペン先側へ回しきると値がおよそ 0 まで下がり、手前に回しきると約 1000 まで上がります。
4. 操作面の垂線方向を 0 °、右への傾きを「X 方向の傾き」、手前への傾きを「Y 方向の傾き」として表示します。ペンの傾きを前後左右に変えると、それぞれの数値が約- 60 °から +60 °の範囲で変化します。
  5. 終了するときは「閉じる」のボタンをクリックします。

## 2D マウスの診断

1. デバイスボタンが押されると、ステータスランプが橙色から緑色に変わります。このとき、表示される「スイッチ」の数値は以下ようになります。



2D マウス

2. 終了するときには「閉じる」のボタンをクリックします。



目次  
索引



トラブルシューティング



タブレットと入力デバイスを診断する 111 ページ

## 4D マウスとレンズカーソルの診断

1. デバイスボタンが押されると、ステータスランプが橙色から緑色に変わります。このとき、表示される「スイッチ」の数値は以下のようになります。



4D マウス



レンズカーソル

2. 4D マウスのホイールを前後に回すと、「ホイール」の値が中間を 0 として約  $\pm 1023$  まで変化します。
3. 4D マウスの場合、「回転」の値が時計回りを + として約 360 までの数値で表示されます。
4. 終了するときには「閉じる」のボタンをクリックします。



トラブルシューティング



タブレットと入力デバイスを診断する 112 ページ



# ? インフォメーション

製品のサポート

製品の保証について

仕様

付属品、オプション品、消耗品



目次  
索引

? インフォメーション

113 ページ

# 製品のサポート

## サポート窓口

万一、タブレットの動作に異常が起きた場合には、[トラブルシューティング](#)を参照して、インストールや設定が正しいかどうかご確認ください。CD-ROMのReadmeファイルが参考になることもあります。解決しそうでないトラブルがありましたら、以下のサポート窓口をご利用ください。

窓 口	サポート内容	ご利用方法
オンライン ホームページ	最新版タブレットドライバダウンロード。 よくお寄せいただくご質問とその答え。 製品やキャンペーンなどの各種情報。 電子メールによるお問い合わせ*。	<a href="http://tablet.wacom.co.jp/">http://tablet.wacom.co.jp/</a>
FAXによるサポート*	技術的なご質問にお答えします。	FAX：047-380-8711 カスタマーサポート 巻末の <a href="#">お問い合わせ用紙</a> に正確にご記入の上お送りください。 折り返しご連絡します*。
お電話によるサポート	技術的なご質問にお答えします。	TEL：047-380-8877 カスタマーサポート (祝日を除く月～金曜 午前10時～12時、午後1時～5時) 巻末の <a href="#">お問い合わせ用紙</a> の内容をご確認の上、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなりますので、早く問題解決のお手伝いができます。
ワコムストア (Web販売)	付属品の再購入や、オプション品、グラフィックソフトなどの購入。	ご購入にはIDとパスワードが必要です。 まず、 <a href="http://tablet.wacom.co.jp/">http://tablet.wacom.co.jp/</a> からワコムクラブへアクセスいただき会員登録をしてください。(入会費、会費など無料) お問い合わせ・・・TEL: 0120-056-814 (祝日を除く月～金曜 午前9時～12時、午後1時～6時)

2001年8月現在

\*・・・電子メールやFAXによるお問い合わせに対しては、弊社営業時間内に回答をさしあげます。内容により、数日かかることがあります。

## ハードウェアの修理

ハードウェアの故障かどうかの判断は、お客様の判断でなさらずに、必ず弊社カスタマーサポートにお問い合わせの上ご確認ください。お客様だけで不良品と判断された返品には一切応じかねますのでご注意ください。

有償修理で、修理前に修理代の金額をお知りになりたい場合は、その旨を依頼書に明記してください。

修理代金のお支払いは、修理完了後、原則として当社指定の銀行口座へ振り込んでください。

# 製品の保証について

## ハードウェアの保証

1. 取扱説明書、および本体添付ラベル等の注意書きに従って正しく使用したにもかかわらず、お買い上げから1年以内に万一ハードウェアが故障した場合には、無償で修理させていただきます。ハードウェアとはタブレット本体とその付属品です。ただし、電子ペンの替え芯などの消耗品とCD-ROMは除きます。弊社カスタマーサポートに製品が故障であることをご確認の上、直接お送りください。
2. 万一、ご購入時点で既に製品に不良があった場合。
  - (イ)必ず購入日から1週間以内に弊社カスタマーサポートにご連絡ください。カスタマーサポートで製品が不良であることが確認された場合に限り製品の交換をお受けいたします。お客様自身の判断による不良品としての交換、返品は一切応じかねますのでご注意ください。製品の交換の際は、製品の交換の際は不良内容を明記して販売店にお返しく下さい。
  - (ロ)1週間以降の場合は、1.に準ずるもの(修理扱い)とします。
3. 次にあげる場合には、保証期間中であっても保証の対象とはなりません。
  - (イ)誤ったご使用方法による故障、または損傷。
  - (ロ)お買い上げ後の落下などによる故障、または損傷。
  - (ハ)お客様が改造または修理されたためと認められる故障、または損傷。
  - (ニ)災害、あるいは異常電圧などの外部要因による故障、または損傷。
  - (ホ)接続している他の機器の故障に起因して本製品に故障を生じた場合。
  - (ヘ)保証書の呈示がない場合、または保証書に押印やお買い上げ日など必要事項の記入がない場合、または保証書の字句を書き換えられた場合。
4. 本製品の修理を依頼される場合は、ワコム製以外の機器を取り外してからお送りください。
5. 故障等により製品を弊社に送付いただく場合の費用は、お客様がご負担ください。お客様への返却費用は弊社の負担とさせていただきます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
7. 弊社は本製品の運用を理由とする損失や逸失利益などにつきましては、いかなる責任も負いません。

本保証はここに明示してある期間、条件のもとにおいて本製品の無償修理を行なうことをお約束するものです。したがって本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについては、弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。



目次  
索引



?インフォメーション

製品の保証について 116 ページ

## タブレットドライバについて

タブレットドライバの著作権はワコムにあります。タブレットドライバはワコムのタブレットと共に使用する場合に限り、コピーしたり使用することができ、それ以外の条件ではコピーしたり使用することはできません。

タブレットドライバは、複数のコンピュータにインストールしてご使用いただくことができますが、ワコムが動作保証をするのは、そのうちの1台のみとします。

中古品、譲渡品についてはすべての保証はありません。

将来発売される新しいOSおよびハードウェアプラットフォームに対して、ワコムはそれに対応したドライバを提供することをお約束はいたしません。また、ドライバの提供を行う場合も、基本的に新しいドライバを販売するものとし、無償での提供はいたしません。


付属のタブレットドライバは、この製品が出荷された時点で最新のものであります。その後、品質をさらに向上させたり、市販のコンピュータのハードウェアやオペレーティングシステムが新しくなったときは、それらに対応するため随時**バージョンアップ**を行っています。このようなドライバのバージョンアップについての情報は、弊社のホームページでお知らせいたします。

製品に付属しているドライバに問題があると思われる場合や、コンピュータを買い替えられたことによって、タブレットの動作に問題が起きた場合は、現在お使いのドライバが最新のものかどうかを、弊社[サポート窓口](#)にご確認ください。最新版のドライバを入手することにより解決することがあります。

また、弊社はタブレットドライバについて、市販されているすべてのハードウェアやソフトウェアとの間で、一切の問題を起さずに動作することを保証しておりません。市販されているハードウェアやソフトウェアとの間で問題があった場合は、可能な限り解決のための努力をいたしますが、弊社のみでは解決できない問題もあることをご了承ください。

# 仕様

## intuos2 タブレット共通の仕様

座標読み取り分解能	100 lpmm (0.01mm)	
座標読み取り精度	± 0.25mm (操作面の縁 10 mm 幅を除く)	
傾きレンジ	± 50° (A6 タブレット) ± 60° (A6 タブレット以外)	(操作面の垂線方向を 0° とする)
傾き読み取り分解能	1.0°	
筆圧レベル	1024 レベル	
読み取り可能高さ	約 6 mm	
最高読み取り速度	200 点 /sec	
インタフェース	EIA RS-232C (シリアルタブレット) USB (USB タブレット)	
コネクタ	D-sub 9-pin メス (シリアルタブレット) USB Aタイプ (USB タブレット)	
ケーブル長	2.5 m	
電源	DC 12V、100mA  (シリアルタブレット) DC 5V、140mA 未満 ホストの USB ポートより供給	
消費電力	1.2 W (シリアルタブレット) 2.0 W (USB タブレット)	
電源アダプタ	AD-7410-W (100V 用) (シリアルタブレット)	
使用環境 (温度、湿度)	5 ~ 40 °C 、 20 ~ 80%RH (ただし結露がないこと)	
保管温度、湿度	-10 ~ 60 °C 、 20 ~ 90%RH (ただし結露がないこと)	



目次  
索引



?インフォメーション

仕様 118 ページ

## intuos2 A6 タブレット i-420 Serial/USB (XD-0405-R/U)

読み取り可能範囲 (横 × 縦)	127.0 x 106.0 mm
外形寸法	225.0 x 210.0 x 7.5 mm
重量	540 g

## intuos2 A5 タブレット i-620 Serial/USB (XD-0608-R/U)

読み取り可能範囲 (横 × 縦)	203.2 x 162.4 mm (上部に 203.2 x 10.0 mm のファンクションボックスを含む)
外形寸法	343.0 x 258.0 x 14.0 mm
重量	880 g

## intuos2 A4 タブレット i-920 Serial/USB (XD-0912-R/U)

読み取り可能範囲 (横 × 縦)	304.8 x 240.6 mm (上部に 304.8 x 12.0 mm のファンクションボックスを含む)
外形寸法	456.0 x 361.0 x 14.0 mm
重量	1.6 kg

## intuos2 A4 正方形タブレット i-1220 Serial/USB (XD-1212-R/U)

読み取り可能範囲 (横 × 縦)	304.8 x 316.8 mm (上部に 304.8 x 12.0 mm のファンクションボックスを含む)
外形寸法	444.0 x 435.5 x 37.0 mm
重量	2.1 kg

## intuos2 A3 タブレット i-1820 Serial/USB (XD-1218-R/U)

読み取り可能範囲 (横 × 縦)	457.2 x 316.8 mm (上部に 457.0 x 12.0 mm のファンクションボックスを含む)
外形寸法	616.0 x 445.5 x 37.0 mm
重量	3.0 kg



目次  
索引



? インフォメーション



仕様 119 ページ

## グリップペン XP-501E

ペン先の動作ストローク	0.1 mm 以下
テールスイッチの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法	159 x 14.0 mm
重量	約 17 g
芯の材質	ポリアセタール

## エアブラシ XP-400E

ホイールの動作ストローク	10 mm
ホイールのレベル	1024 レベル
ペン先の動作ストローク	0.1 mm 以下
テールスイッチの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法	162.5 x 32.5 x 17.5 mm
重量	約 24 g
芯の材質	ポリアセタール

## インクペン XP-110

ペン先の動作ストローク	0.1 mm 以下
外形寸法	151 x 12.5 mm
重量	約 12 g
芯の材質、種類	ポリアセタールまたはボールペン（黒）



目次  
索引



? インフォメーション



仕様 120 ページ



## ストロークペン XP-120

ペン先の動作ストローク	約 1.8 mm
外形寸法	151 x 12.5 mm
重量	約 12 g
芯の材質、種類	ポリアセタール

## 2D マウス XC-100

外形寸法（長さ×幅×高さ）	120.0 x 71.0 x 35.4 mm
重量	約 100 g
ホイールの動作ストローク	± 8 mm
ホイールのタイプ	エンドレス、1周 24 ピッチ

## 4D マウス XC-400

外形寸法（長さ×幅×高さ）	120.0 x 71.0 x 35.4 mm
重量	約 105 g
ボタンの動作ストローク	1 mm 以内
ホイールの動作ストローク	± 8 mm
ホイールのレベル	± 1023 レベル

## レンズカーソル XC-210

外形寸法（長さ×幅×高さ）	158.9 x 66.1 x 33.0 mm
重量	72 g
ボタンの動作ストローク	1 mm 以内



目次  
索引



?インフォメーション



仕様 121 ページ

## 付属品、オプション品、消耗品

### ペン

#### グリップペン XP-500E

ペン先とテールスイッチに筆圧を備えた intuos2 の汎用標準ペンです。2つのサイドスイッチには、ダブルクリックやショートカットキーなどを設定できます。

#### インクペン XP-110

ボールペンのインクカートリッジを芯に使うことができます。コンピュータの画面と同時に操作面に置いた紙の上にも描けます。黒ボールペン芯3本、ポリアセタール芯（インクなし）2本が付属。



#### ストロークペン XP-120

ペン先に荷重が加わると、荷重に応じてペン芯がわずかに沈みます。筆圧を、わずかな手の動きとして視覚的、感覚的にとらえることができます。



#### エアブラシ XP-400E

ペン先とテールスイッチに筆圧を備えています。人差し指でホイールを回すことにより、たとえばスプレアの強さなどをコントロールします。

#### 2D マウス XC-100

intuos2 タブレットの操作面の上で、通常のマウスと同じようにお使いいただけるコードレスホイールマウスです。

## 4D マウス XC-400

4つのボタンスイッチと、人差し指で回す中点復帰型ホイール（ボタンスイッチ兼用）を備えています。4Dマウスの向きがアプリケーションに伝わるので、3Dグラフィックやオーディオ、ビデオ編集などの複合的な操作にも適しています。

## レンズカーソル XC-210

手元を見ながら操作面上の正確な位置を入力するのに使用します。レンズの十字の交点が座標読み取り位置になります。CADや、図形、地図情報の入力、トレースなどに使用します。



目次  
索引



?インフォメーション

付属品、オプション品、消耗品 123 ページ

## 消耗品

品目	型式
オーバーレイシート (1枚入り)	
A6 タブレット i-420 用	PSH-A219-01 (アイシーブルー)
A5 タブレット i-620 用	PSH-A220-01 (アイシーブルー)
A5 タブレット i-620USD(DP) 用	PSH-A220 (ディープパープル)
A4 タブレット i-920 用	PSH-A221-01 (アイシーブルー)
A4 タブレット i-920USD(DP) 用	PSH-A221 (ディープパープル)
A4 正方形タブレット i-1220 用	PSH-A222-01 (アイシーブルー)
A3 タブレット i-1820 用	PSH-A223-01 (アイシーブルー)
ペンスタンド (1本立て)	
グリップペン用	PST-A026-02 (アイシーブルー) PST-A026-01 (ディープパープル)
インクペン、ストロークペン、エアブラシ用	PST-A021-03 (アイシーブルー) PST-A021-02 (ディープパープル)
ポリアセタール替え芯	
グリップペンおよびエアブラシ用	FUZ-A010 (5本入り)
インクペンおよびストロークペン用	FUZ-A010-03 (5本入り)
ボールペン芯 (インクペン用)	
黒	PSI-A024-BK (5本入り)
赤	PSI-A025-R (5本入り)
青	PSI-A026-BL (5本入り)

# 用語

**DOS shell** Windows のオペレーティングシステム上で動作する DOS。

**アプリケーション特有の設定** コントロールパネルを使って、アプリケーションごとに入力デバイスやタブレットの設定を変えておくことをいいます。使用するアプリケーションが変わると、入力デバイスやタブレットの動作が、設定しておいたものに自動的に切り替わります。

**傾き対応** ペンのタブレットにする対する傾きを感知して使用する機能。操作面の垂線からの傾きの大きさと、傾きの方向とをタブレットが読みとります。アプリケーションの対応により、たとえば、傾き方向に平行に線を引くと細く、垂直に引くと太く描けます。筆先を下ろしたときに絵の具が付く形状や、穂先の方向を操作することができます。

**画面** intuos2 タブレットの機能を説明する場合、コンピュータのディスプレイ装置の有効表示領域を画面と呼ぶことにします。

**クイックポイント** 操作面の右下または左下の小さなクイックポイントエリアを使うと、手首と指先の小さな動きでポイントを速く動かすことができます。タブレット操作エリアにクイックポイントモードが選択されていると、この機能を使用できます。メニュー選択などの一般的な操作に適します。

**クリック荷重** ペンでクリックするために、ペン先やテールスイッチにかける最小の荷重。

**消しゴム対応アプリケーション** ペンのテールスイッチを「消しゴム」に設定しておくこと、テールスイッチをタブレット操作エリアに近づけたとき、消しゴムデバイスが使えるグラフィックアプリケーション。消しゴム以外の機能が使えるアプリケーションもあります。

**出力筆圧** タブレットドライバからアプリケーションに出力される筆圧。

**操作面** タブレット表面に区切られた長方形の内側。ペンなどの入力デバイスをこの中で使用します。

**操作エリア（タブレット操作エリア）** 入力デバイスを使って画面のポインタを操作できる操作面内のエリア。操作面の一部の長方形の中だけを操作エリアに設定することができます。

**ダブルクリックアシスト** ペン先でダブルクリックがしやすくなるコントロールパネルの設定。ペン先による「ダブルクリックの速度」と、2回目のクリックがずれてもよい「ダブルクリック距離」とを設定します。

**ダブルクリック距離** ペン先でダブルクリックするとき、2回目のクリックが1回目からずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくするとペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

**ダブルクリックの速度** ダブルクリックの2回目のクリックが1回目から遅れてもよい時間の設定。遅くするとペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

**デバイス ID** 入力デバイスひとつひとつに書き込まれている ID で、タブレットが識別します。同じタブレットに対して多くの入力デバイスを個別の設定で使用することができます。たとえば、同じタイプのペンを何本でも識別します。

**デバイスボタン** ペンスイッチと、4D マウスやレンズカーソルのデバイスボタンの総称。

**入力荷重** タブレットからタブレットドライバに入力される、ペンにかかる荷重。

**入力デバイス** タブレット操作面の上で使用するペンやエアブラシ、4D マウス、レンズカーソルなどの総称。

**ピクセル** 画面に画像を表示する最小単位となる点。ドットともいいます。画像はこの点の集まりとして表示されます。画面の解像度を表す単位です。

**筆圧曲線** 入力荷重が、タブレットドライバによってどのように出力筆圧に変換されるかが、この曲線によって決まります。

**筆圧対応** 筆圧を感知して使用する機能。

**表示エリア（タブレットの表示エリア）** 入力デバイスを使ってタブレットから画面のポインタを操作するとき、ポインタが届く画面の範囲をいいます。

**ペンモード** 表示エリア内のポインタの位置が、操作エリア内のペン先の位置に常に対応します。ペン先を操作エリアに近づけた瞬間、ポインタはペン先の位置に対応する場所に現れます。絶対座標モードともいいます。マウスモードも参照。

**ポインタの速度** マウスモードが選択されているときに表示されるポインタ移動速度。「マッピング」のタブで「マウスモード」を選択して設定します。

**ホイール** 2D マウスのホイールは、回すとアクティブウィンドウを上下にスクロールします。4D マウスのホイールは親指で回し、離すと中間に戻ります。エアブラシのホイールは人差し指で回し、インクの流量などを調節するのに使います。

**ポップアップメニュー** 「ポップアップメニュー」に設定されているペンスイッチやファンクションボックス、デバイスボタンを押したときポインタの場所に現れるメニューです。表示されたポップアップメニューからショートカットキーなどの「キーストローク」や、「マッピングオプション」を選択すると、その機能や設定が働きます。

**マウスモード** 操作エリア内の読み取り高さ以内で入力デバイスが動いたときだけ、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。相対座標モードともいいます。ペン先でドラッグしていて操作面からはみ出ると、ドラッグが終わってしまいます。長い距離をドラッグするときは、サイドスイッチを左ボタンのクリック、またはクリックロックに設定して、サイドスイッチでドラッグしてください。相対座標モードともいいます。ペンモードも参照。

**読み取り高さ** [操作面](#)から約 6mm 以内の高さ。入力デバイスがこの高さにあるとき、タブレットが入力デバイスの情報を読み取ります。





コントロールパネル		タブレット	118
概要	<a href="#">36</a>	消耗品	<a href="#">124</a>
タブ	<a href="#">37</a>	診断	
開く	<a href="#">35</a>	2D マウス	<a href="#">111</a>
ボタン	<a href="#">39</a>	4D マウス	<a href="#">112</a>
さ		エアブラシ	<a href="#">110</a>
最小入力荷重	<a href="#">79</a>	ペン	<a href="#">110</a>
最新版タブレットドライバのダウンロード	<a href="#">114</a>	レンズカーソル	<a href="#">112</a>
最大入力荷重	<a href="#">79</a>	芯の交換	<a href="#">31</a>
サイドスイッチ		す	
設定	<a href="#">42</a>	スイッチ機能	<a href="#">43</a>
はずし方	<a href="#">32</a>	せ	
はずし方	<a href="#">32</a>	製品の保証	<a href="#">116</a>
作業環境	<a href="#">17</a>	接続を確認 (シリアルタブレット)	<a href="#">66</a>
削除		設定する	
アプリケーションを	<a href="#">93</a>	4D マウスのホイール	<a href="#">88</a>
ブルダウンメニュー	<a href="#">69</a>	エアブラシのホイール	<a href="#">85</a>
ポップアップメニューから	<a href="#">63</a>	傾き感度	<a href="#">49</a>
入力デバイスを	<a href="#">98</a>	設定をコピー	<a href="#">100</a>
座標検出モード	<a href="#">53</a>	ダブルクリック (ペン先で)	<a href="#">41</a>
サポート窓口	<a href="#">114</a>	タブレットモード	<a href="#">67</a>
し		デバイスボタン (2D マウス)	<a href="#">50</a>
縦横比を保持 (マッピング)	<a href="#">54</a>	デバイスボタン (4D マウス)	<a href="#">86</a>
修理	<a href="#">115</a>	デバイスボタン (ペン)	<a href="#">42</a>
仕様		筆圧感触 (簡易設定)	
2D マウス	<a href="#">121</a>	テールスイッチ (消しゴム)	<a href="#">48</a>
4D マウス	<a href="#">121</a>	ペン先	<a href="#">40</a>
インクペン	<a href="#">120</a>	筆圧感触 (詳細設定)	<a href="#">77</a>
エアブラシ	<a href="#">120</a>	クリック荷重	<a href="#">78</a>
グリップペン	<a href="#">120</a>	筆圧曲線	<a href="#">79</a>
ストロークペン	<a href="#">121</a>	テールスイッチ (消しゴム)	<a href="#">81</a>



ファンクションボックス	<a href="#">64</a>	て		
ポップアップメニュー	<a href="#">61</a>		テクニカルサポート	<a href="#">114</a>
ペンスイッチ	<a href="#">42</a>		デュアルデバイスの使い方	<a href="#">75</a>
マッピング (簡易設定)	<a href="#">52</a>		テールスイッチの筆圧感触 (簡易設定)	<a href="#">48</a>
マッピング (詳細設定)	<a href="#">82</a>		テールスイッチの筆圧感触 (詳細設定)	<a href="#">81</a>
設定を削除		と		
アプリケーションを	<a href="#">93</a>		同型の入力デバイスを複数使う	<a href="#">99</a>
入力デバイスを	<a href="#">98</a>		登録	
ポップアップメニューから	<a href="#">63</a>		アプリケーションを	<a href="#">90</a>
そ			入力デバイスを	<a href="#">95</a>
操作エリア	<a href="#">55</a>		トラブルシューティング	
その他のオプション品	<a href="#">124</a>		画面表示	<a href="#">108</a>
た			タブレットが使えない	<a href="#">103</a>
タブ	<a href="#">37</a>		ペンスイッチ	<a href="#">106</a>
ダブルクリックアシスト	<a href="#">41</a>	に		
タブレット操作面	<a href="#">55</a>		入力デバイス	
タブレットとの関係	<a href="#">54</a>		削除	<a href="#">98</a>
タブレットドライバ最新版の入手	<a href="#">114</a>		登録 (追加)	<a href="#">95</a>
タブレットのシリアル通信を確認	<a href="#">66</a>		2つ同時に使う	<a href="#">75</a>
タブレットの表示エリア	<a href="#">58</a>	ひ		
タブレットの向きを変える	<a href="#">53</a>		筆圧感触を設定	<a href="#">40</a>
タブレットモード	<a href="#">67</a>		筆圧曲線の調整	<a href="#">79</a>
タブレットを複数接続	<a href="#">101</a>		筆圧を使う	<a href="#">26</a>
つ			表示エリア	<a href="#">58</a>
追加メニュー	<a href="#">68</a>		標準設定	
使い方			4D マウスのボタン	<a href="#">72</a>
2D マウス	<a href="#">15</a>		4D マウスのホイール	<a href="#">73</a>
4D マウス	<a href="#">72, 73</a>		ファンクションボックス	<a href="#">20, 64</a>
エアブラシ	<a href="#">71</a>		サイドスイッチ	<a href="#">24</a>
レンズカーソル	<a href="#">74</a>		最大入力荷重	<a href="#">79</a>
			セカンドサイドスイッチ	<a href="#">24</a>

	操作エリア	<a href="#">55</a>
	タブレットとの関係	<a href="#">54</a>
	レンズカーソルのボタン	<a href="#">74</a>
ふ		
	ファイルメニュー	<a href="#">68</a>
	ファンクションボックスの設定	<a href="#">64</a>
	付属品	<a href="#">122</a>
	読み取り高さ	<a href="#">29</a>
れ		
	練習（画面を見ながらペンを使う）	<a href="#">30</a>
	レンズカーソル	
	オプション品	<a href="#">123</a>
	仕様	<a href="#">121</a>
	使い方	<a href="#">74</a>
	ボタンスイッチのみ使用	<a href="#">87</a>
	ボタンスイッチ	<a href="#">86</a>
わ		
	ワコム タブレットのプロパティ	<a href="#">36</a>

英数字      あ      か      さ      た      な      は      ま      や      ら



目次  
索引



索引

131 ページ

「お問い合わせ用紙」または「修理依頼書」を で囲んでください

# お問い合わせ用紙 / 修理依頼書

FAX 047-380-8877 カスタマーサポート行 / テクニカルセンター行



発信	年	月	日
----	---	---	---

お客様	フリガナ		会社名 (学校名) 所属部署		
	氏名	TEL	FAX		
	会社(学校)・自宅 運 送 先 会社(学校)・自宅 住所	〒 ( ) ( )	( ) ( )		
	E-mail:				
型番	シリアル番号				
タブレット	タブレットタイプ	Macintosh用・Windows用	(パージョン: )		
	購入年月日	年 月 日			
	使用コンピュータ	メーカー: タブレット接続ポート: 機種名:	( Yes ・ No )		
	使用OS	(パージョン: )			
	使用アプリケーション	(パージョン: )			
使用環境	周辺機器	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		モデム			
		TA			
		MIDI			
		デジタルカメラ			
		プリンタ			
		フロッピー スキャナ			
ビデオカード					
	その他				
	現象発生日	年 月 日			
	現象発生頻度	常時・ときどき(システム起動時・使用中・その他):	( )		
内容	症状、エラーメッセージ、解決のために試みられたこと、その他お気づきになったこと  (この欄に書ききれないときは、別紙に続けてください。)				

**お問い合わせ用紙・修理依頼書** このページ(132)を印刷してお使いください。クイックスタートガイドの小冊子巻末にも同じものが綴じ込まれていますので、コピーしてお使いください。

